

令和7年度 第3回千葉県博物館協議会 次第

日時：令和8年2月3日（火）
10時00分～12時20分
会場：千葉県立美術館 研修室

1 開 会

2 館長あいさつ

3 委員紹介・出席職員紹介

4 議 事

- (1) 令和7年度企画展及び美術館建築（国登録有形文化財）の視察と講評
(県立美術館)
- (2) 令和6年度 千葉県立美術館・博物館自己評価結果について
- (3) 令和8年度実施事業について

5 その他

6 閉 会

【配付資料】

- | | | |
|-------|-------------------------|-------|
| 資料1—1 | 令和6年度 千葉県立美術館・博物館自己評価結果 | 概要 |
| 資料1—2 | 令和6年度 千葉県立美術館・博物館自己評価結果 | 自己評価票 |
| 資料1—3 | 令和6年度 千葉県立美術館・博物館自己評価結果 | 説明資料 |
| 資料2 | 令和8年度実施事業について | |
| 参考1 | 千葉県立美術館・博物館 入館者数の推移 | |

千葉県博物館協議会委員 名簿

No.	領域	氏名	所属等	備考
1	学校教育	さいとう のりこ 齋藤 智子	栄町立安食台小学校 校長	
2	社会教育	ふせ としゆき 布施 利之	君津市教育委員会 生涯学習文化課 副課長	
3	家庭教育	うき いづみ 卯木 伊津美	千葉県子ども会育成連合会 理事	
4	学識経験者	ゆあさ はるひさ 湯浅 治久	専修大学文学部 教授	
5	学識経験者	せきざわ 関沢 まゆみ	国立歴史民俗博物館研究部 教授	
6	学識経験者	こうの な 鴻野 わか菜	早稲田大学教育・総合科学学術院教育学部 教授	
7	学識経験者	ほそや つよし 細矢 剛	国立科学博物館 副館長(兼)植物研究部長	御欠席
8	学識経験者	たかはし まさし 高橋 正	東邦大学 名誉教授	
9	学識経験者	うすざか こうじ 臼坂 光二	NHK 千葉放送局 局長	御欠席
10	学識経験者	かどわき いちろう 門脇 伊知郎	合同会社わんぱく 代表	

(任期：令和6年12月1日～令和8年11月30日)

令和7年度 第3回千葉県博物館協議会 出席者名簿

千葉県立美術館・博物館 説明者

館名	職名	氏名
千葉県立美術館	館長	貝塚 健
千葉県立中央博物館	館長	四柳 隆
千葉県立現代産業科学館	館長	松田 光司
千葉県立関宿城博物館	館長	糸原 清
千葉県立房総のむら	館長	西原 正男

千葉県 環境生活部 スポーツ・文化局 文化振興課

部課名	職名	氏名
環境生活部文化振興課	副参事兼室長	山口 篤
環境生活部文化振興課	主幹	小野 理華
環境生活部文化振興課	副主幹	村田 明久
環境生活部文化振興課	副主査	宮川 尚子
環境生活部文化振興課	技師	鈴木 健人

千葉県立美術館・博物館 職員

館名	職名	氏名
千葉県立美術館	副館長	高山 順子
千葉県立美術館	普及課長	立和名 啓人
千葉県立美術館	普及課研究員	松田 直子
千葉県立現代産業科学館	普及課長	竹内 洋子
千葉県立現代産業科学館	学芸課長	小笠原 淳
千葉県立房総のむら	副館長兼事業課長	鎌形 佐知夫

事務局

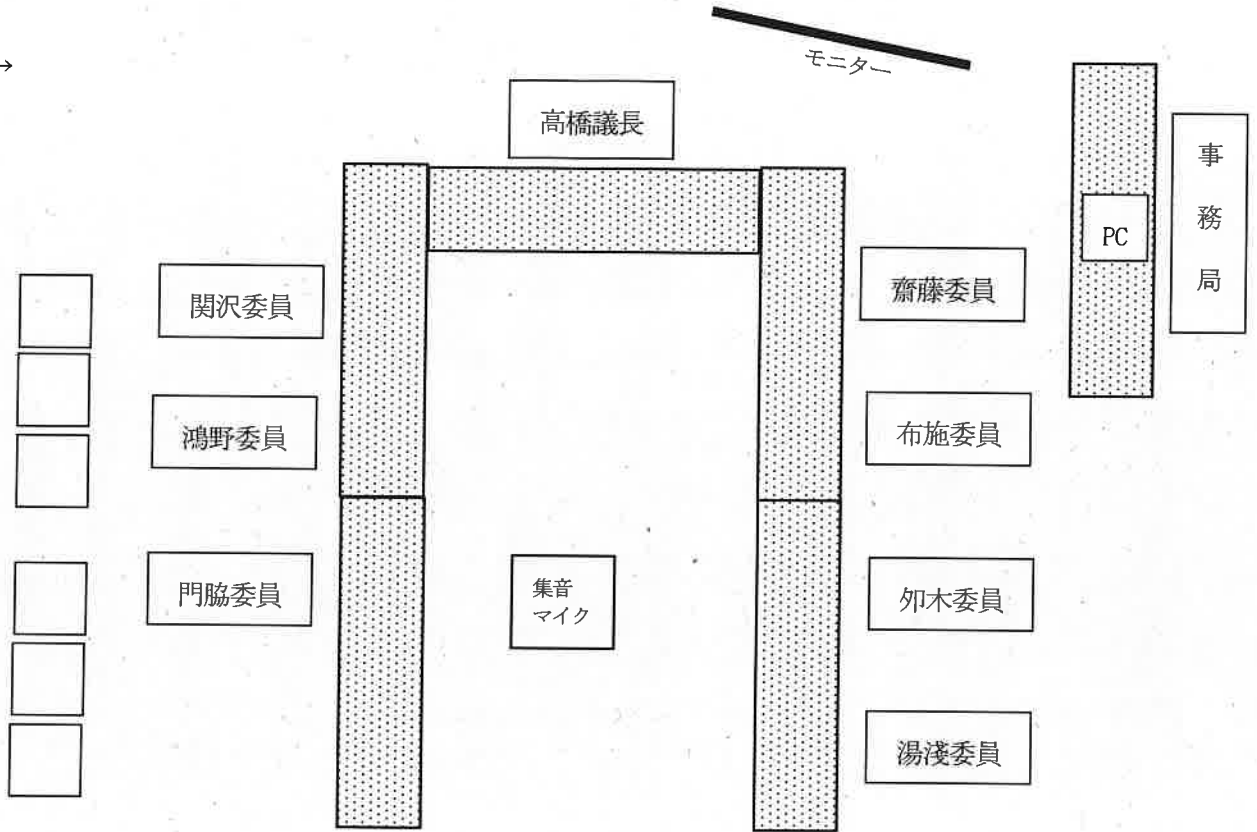
館名	職名	氏名
千葉県立中央博物館	企画調整課長	猪野 義信
	上席研究員	監物 うい子

令和7年度第3回千葉県博物館協議会 座席表

出入口→

傍
聴
席

報
道
関
係
者



令和6年度 県立博物館自己評価結果について

令和8年2月3日
千葉県環境生活部
スポーツ・文化局文化振興課

1 令和6年度自己評価について

(1) 自己評価期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

(2) 自己評価項目

評価の大項目は下記の9項目である。

博物館事業全般について、全館が共通した自己評価票を使用し、各館で設定した達成目標に対しての点検・評価を実施した。

なお、自己評価票については平成27年度分からこの様式・方法となっている。

- I. 収蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究
- II. 入館者数と来館者の満足度
- III. 財源の確保
- IV. 広報の積極的な展開
- V. 学校及び地域(関係団体)との連携・協働
- VI. 教育・普及活動
- VII. 人材育成と安全管理
- VIII. 観光資源としての活用
- IX. ICTの活用(令和2年度追加)

(3) 自己評価結果

- ・5館8施設において、総合評価が前年度より上がった館は1、下がった館は3であった。
- ・8施設で9つの大項目のうち、休館中で該当の無い項目を除く計61項目のうち、前年度より評価が上がった項目は8、前年度と同じだった項目は37、前年度より評価が下がった項目は16、であった。

館名	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	総合
	収蔵資料	入館者数	財源確保	広報	学校連携	教育普及	人材・安全	観光資源	ICT	
美術館	B (A)	B (A)	B (B)	B (B)	A (B)	A (A)	B (B)	B (B)	A (B)	B (B)
中央博	B (B)	B (A)	B (B)	A (A)	A (B)	A (A)	A (A)	A (A)	A (C)	A (A)
大利根	B (A)	- (-)	- (-)	- (C)	A (A)	- (B)	- (-)	- (-)	- (-)	A (B)
大多喜城	B (A)	A (A)	- (-)	C (B)	B (A)	A (A)	- (-)	- (-)	- (-)	B (A)
海博	A (A)	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	D (A)	A (A)
現産館	B (A)	A (A)	A (B)	B (B)	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	D (B)	B (A)
関宿城	B (B)	A (B)	B (C)	B (B)	B (A)	B (B)	A (B)	A (A)	D (C)	B (B)
むら	B (A)	B (B)	A (A)	B (A)	A (A)	B (A)	A (A)	B (A)	B (B)	B (A)

※()内は令和5年度分

※網掛けは第1回協議会資料から修正のあった項目

千葉県立博物館の事業に係る自己評価票(令和6年度事業:美術館)

達成度(数値達成度のめやす)		自己評価	総合評価
達成	目標値≥100%	4	A
ほぼ達成	目標値≥80%	3	B
やや不十分	目標値≥50%	2	C
不十分	目標値<50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値≥75%	4
ほぼ達成	達成値≥65%	3
やや不十分	達成値≥50%	2
不十分	達成値<50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考				
			上段:達成値 下段:目標値	値の説明	数値							
I	収蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究	収蔵資料	1	博物館資料の受入等	令和6年度実績	1件	1	C	クワクボリョウタによるインスタレーション1点			
					館設定の目標	5件						
			2	資料の情報化・公開実績	令和6年度実績	6件	4					
					館設定の目標	5件						
			3	基金購入	令和6年度実績	0件	1					
					館設定の目標	2件						
		収蔵資料の有効活用	4	館外貸出(外部機関等展示等)	令和6年度実績	10件	4	A	佐倉市立美術館「香取秀真の眼」展、松本市美術館「香取秀真展」、千葉市美術館「板倉鼎・須美子展」など			
					要望のあった件数	10件						
			5	館内利用(学術調査等)	令和6年度実績	2件	4			毎日新聞社・SOMPO美術館によるバルビゾン派コレクションの調査、芳国舎洪草製陶所による津田信夫の調査		
					要望のあった件数	2件						
			6	著作物資料への利用(出版物掲載等)	令和6年度実績	16件	4				朝日新聞社、思文閣出版、共同通信社など	
					要望のあった件数	16件						
		調査研究	7	調査事業件数	件数	令和6年度実績	24件	4	C			国立国会図書館、福岡県立美術館、久留米市美術館、青森県立美術館、世田谷美術館、日本橋高島屋、千葉市美術館、松本市民芸術館、松本市美術館、松本市博物館、三春交流館まほら、三春町民体育館、三春町歴史民俗資料館、福島県立美術館、全日本海員組合本部会館、文化庁国立近現代建築資料館、Super Studio Kagaya、MASK、金沢21世紀美術館、松戸戸定邸、大阪中之島美術館、国立国際美術館
						館設定の目標	11件					
8	共同調査事業件数		件数	令和6年度実績	3件	1	寒川神社、千葉ポートパーク他					
				館設定の目標	9件							
9	研究成果の公開状況		論文研究報告	令和6年度実績	2件	1						
				前年度実績	9件							
大項目 I の総合評価(A~D)							B					
博物館コメント	博物館資料の受入は1点にとどまり、基金による購入はなかったが、館外への資料貸出及び掲載業務は要望すべてに対応した。展覧会企画等のための調査事業は、昨年度より強化されており、今後も一層の充実が求められる。											

II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	美術館	入館者数	令和6年度実績	100,610人	3	C	令和6年度開催地 多古町コミュニティプラザ		
						前年度実績	121,301人					
			2	企画展(海風展、浅井展)	入館者数	令和6年度実績	44,033人	3				
						前年度実績	53,278人					
			3	移動展	入館者数	令和6年度実績	598人	1			A	ZOZO×県美コレクション コレクション展1 コレクション展2(100選)
						前年度実績	3,484人					
		展示の充実	4	常設展示	更新回数	令和6年度実績	3回	1				
						館設定の目標	7回					
			5	特別展(PROJECT UMINOUE, 浅井忠、あちこちに行く)	実施回数	令和6年度実績	2回	4	B	PROJECT UMINOUE, 浅井忠、あちこちに行く		
		館設定の目標				2回						
		6	トピックス展等(デュッセルドルフ派遣アーティスト成果展)	実施回数	令和6年度実績	1回	4	デュッセルドルフ派遣アーティスト 成果展				
					館設定の目標	1回						
		総合的な満足度	7	常設展示(ZOZO)	アンケート満足度「非常に満足」+「満足」の割合	令和6年度実績	94%		4	A		
令和6年度実績	92%											
8	特別展(PROJECT UMINOUE, 浅井忠、あちこちに行く)		実施回数	令和6年度実績	93%	4						
		令和6年度実績		98%								
大項目IIの総合評価(A~D)									B			
博物館コメント	来館者数は減少してしまいましたが、展示内容の充実をはかったことにより満足度は高かった。											
III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	令和6年度実績	28%	1	B	R6収入見込額を館目標(100%)としたときのR6入場料収入		
						館設定の目標	100%					
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	令和6年度実績	1件	4			外部資金の対象となる展示会を実施したため	
						前年度実績	1件					
大項目IIIの総合評価(A~D)									B			
博物館コメント	<p>展覧会の「PROJECT UMINOUE」や「浅井忠、あちこちに行く〜むすばれる人、つながる時代〜」は、好評だったが、令和6年度全体としては目標に達することはできなかった。</p> <p>また、当館の企画展が2024年度船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」プログラム1「海の企画展サポート」支援対象事業の助成対象活動として採択され、外部資金を確保することができた。</p>											
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	令和6年度実績	670回	4	B	HPアップ152回、メルマガ12回、X477回、インスタ29回:全部で670回		
						前年度実績	108回					
			2	HPでの利用状況	アクセス数	令和6年度実績	205,934件	2				
		前年度実績				313,730件						
		3	報道機関への情報発信	取材件数	令和6年度実績	22件	4					
					前年度実績	19件						
大項目IVの総合評価(A~D)									B			
博物館コメント	HPによる情報発信、報道機関への情報発信は増加したが、HPのアクセス数は減少してしまった。魅力あるHPを作成するとともに、HPにアクセスしてもらうように、他のツールへの情報発信もより一層行うようにする。											

V	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	令和6年度実績	12校	4	B			
					前年度実績	10校						
			2	入館者数	令和6年度実績	662人	4					
					前年度実績	474人						
			3	生徒・児童	入館者数	令和6年度実績	9,966人	1				
		前年度実績				23,476人						
		4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	令和6年度実績	7校	2					
					前年度実績	9校						
		5	利用者数	令和6年度実績	263人	3						
				前年度実績	284人							
地域関係団体との連携	6	団体数	令和6年度実績	22団体	4	A	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県インターンシップ ・筑波大学「触れる彫刻展」他 ・千葉大学「連携ワークショップ」等 					
			前年度実績	8団体								
	7	連携・共催(大学、NPO等)	利用回数	令和6年度実績	33回			4	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県インターンシップ1回 ・筑波大学「触れる彫刻展」展覧会+関連事業=4回等 			
				前年度実績	13回							
	8	利用者数	令和6年度実績	8,753人	2			<ul style="list-style-type: none"> 511名(成田観光会館) 7,350名(彫刻に触れるとき) 104名(イオンモール幕張)等 				
前年度実績			12,052人									
9	友の会活動	利用人数	令和6年度実績	613人	4							
			前年度実績	226人								
10	ボランティア活動	活動延人数	令和6年度実績	1,133人	4					<ul style="list-style-type: none"> ミュージアムサポーター 海風クルー 		
			前年度実績	357人								
大項目Vの総合評価(A~D)											A	
博物館コメント	学校との連携は前年度並みだったが、地域関係団体との連携は大幅に増加し、主に展覧会において連携することができた。											

VI	教育・普及活動	来館状況	1	陶芸	参加者数	令和6年度実績	17人	4	A	
						前年度実績	14人			
			2	篆刻	参加者数	令和6年度実績	17人	3		
						前年度実績	20人			
			3	金工	参加者数	令和6年度実績	16人	4		
						前年度実績	未実施:0人			
			4	ホリデー アート 蜜蠟画	参加者数	令和6年度実績	13人	4		
						前年度実績	8人			
			5	千葉県誕生 150周年記念 ワークショップ	参加者数	令和6年度実績	104人	4		
						館設定の目標	100人			
			6	さんばしま つり「こども 縁日」	参加者数	令和6年度実績	244人	4		
						館設定の目標	100人			
			7	千夜一夜 2025	参加者数	令和6年度実績	87人	4		
						館設定の目標	75人			
		8	千葉みなと クリスマス マーケット	参加者数	令和6年度実績	142人	4			
募集員数	100人									
9	対話型鑑賞	参加者数	令和6年度実績	32人	2					
			募集員数	各回10人×6回						
総合的な 満足度	講座	満足度「とっても良 かった」+「良かった」 の割合	令和6年度実績	78%	4	A				
			令和6年度実績	93%	4					
			令和6年度実績	100%	4					
			令和6年度実績	100%	4					
利用状況	相談件数 (来館、メール、電話 等)	利用件数	令和6年度実績			計数せず				
			館設定の目標							
大項目VIの総合評価(A~D)									A	
博物館コメント	実技講座、体験講座ともにほぼ例年通りの参加者が集まった。									

Ⅶ	人材育成と安全管理	実習 研修	1	博物館実習	令和6年度実績	10人	4	A					
					前年度実績	9人							
			2	教員等の研修	令和6年度実績	8人	2						
					前年度実績	16人							
			3	職場体験	令和6年度実績	3人	4						
					前年度実績	3人							
			4	インターンシップ	令和6年度実績	6人	4						
					前年度実績	2人							
		安全管理	5	研修会の開催	実施回数	令和6年度実績	0回			1	C		
					前年度実績	0回							
6	防災訓練実施等		実施回数	令和6年度実績	1回	2							
			前年度実績	2回									
大項目Ⅶの総合評価(A~D)								B					
博物館コメント	実習は、中学生の職場体験から教員向けの研修まで、あらゆる年代にたいして研修を実施した。												
Ⅷ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	令和6年度実績	2団体	1	B					
					前年度実績	16団体							
			2	外国人来館入込	令和6年度実績	357人	4						
					前年度実績	5人							
		大項目Ⅷの総合評価(A~D)								B			
		博物館コメント	県外来館団体は減少したが、外国人の来館者が大幅に増加した。										
Ⅸ	ICTの活用	ICTの活用	1	デジタルミュージアム等のコンテンツの作成・整備	制作数	令和6年度実績	6件	4	A	千葉学講座の会場とオンラインのハイブリッド方式開催			
					前年度実績	3件							
			2	デジタルミュージアム等のコンテンツの利用状況	視聴数	令和6年度実績	20,496件	2					
					前年度実績	25,647件							
			3	インターネットを活用したオンラインでの講座等の開催	開催回数	令和6年度実績	1回	4					
					前年度実績	1回							
			4	デジタル・デバйд解消のための対策	実施回数	令和6年度実績	1回	4					
					前年度実績	1件							
		大項目Ⅸの総合評価(A~D)									A		
		博物館コメント	デジタルミュージアムの新規コンテンツを作成することができたが、視聴数は前年度に比べて減少した。										
		総合評価(A~D) 【各達成度の平均】									B		
		総合評価と次年度への対策	開館50周年記念事業として、コレクションによる展覧会を中心に、展覧会を数多く開催することができた。次年度は、「千葉県立美術館活性化基本構想」で示した理念、目指す姿を基に策定される、「千葉県立美術館 実施計画(令和7年度~10年度)」による重点事業について積極的に取り組みたい。										

千葉県立博物館の事業に係る自己評価票（令和6年度事業：中央博物館本館）

達成度（数値達成度のめやす）		自己評価	総合評価
達成	目標値 \geq 100%	4	A
ほぼ達成	目標値 \geq 80%	3	B
やや不十分	目標値 \geq 50%	2	C
不十分	目標値 $<$ 50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値 \geq 75%	4
ほぼ達成	達成値 \geq 65%	3
やや不十分	達成値 \geq 50%	2
不十分	達成値 $<$ 50%	1

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段：達成値	下段：目標値	値の説明	数値				
I	収蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究	収蔵資料	1	博物館資料の受入等	令和6年度実績	20,721件	4	B	資料の受入等は前年の約1.5倍に増えた。	
					前年度実績	13,637件				
			2	資料の情報化・公開実績	令和6年度実績	4,115点	2		年度末の情報システム登録点数で算出。（令和5年度実績についても修正している）	
					前年度実績	6,997点				
		収蔵資料の有効活用	3	館外貸出（外部機関等展示等）	令和6年度実績	19件	4	A		
					前年度実績	18件				
			4	館内利用（学術調査等）	令和6年度実績	192,816件	3			
					前年度実績	194,710件				
		5	著作物資料への利用（出版物掲載等）	令和6年度実績	104件	4	出版物への掲載は前年度から大幅に増加した。			
				前年度実績	64件					
		調査研究	6	調査事業件数	件数	令和6年度実績	100件	4	B	地域研究課題＋普遍研究課題
						前年度実績	89件			
7	共同調査事業件数		件数	令和6年度実績	6件	2	科研分担＋他機関と共同研究の件数			
				前年度実績	9件					
8	研究成果の公開状況		論文研究報告	令和6年度実績	89件	4	学術論文・学術書の本数			
				前年度実績	71件					
大項目Iの総合評価（A～D）						B				
博物館コメント	<ul style="list-style-type: none"> ●（項目1～5）資料の受入や貸出等の数値は、順調に増加している。 ●（項目6～8）調査事業件数や研究成果の公開状況は増加しており、確実に実績を伸ばしている。 									

入館者数と II 来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	令和6年度実績	98,169人	3	C	前年度の特別展と比べ、若年層の来館者が少なくなったため。R5特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」 令和5年度は千葉県誕生150周年記念事業「写真で見るちばのあゆみ」が含まれていたため、例年に比べて入館者数が多かった。 <令和6年度展示> ■特別展 ・文化庁合同特別展示「発掘された日本列島2024」 ・特別展「万祝博覧会―海をまとう―」 ■季節展示等 ・春の展示「理科室のタイムマシン 学校標本」 ・秋の展示「二口善雄植物画展」 ・春の展示「房総のミニチュア「生態園」～日本初のエコロジー・パークの35年～」 ■トピックス展 ・トピックス展「地中からのメッセージ～旧石器・縄文・弥生～」 ・トピックス展「十二支にちなんで―巳年―」 ■生態園トピックス展 ・生態園の野鳥たち ・生態園の地衣類 ・生態園からはじめる房総の自
					前年度実績	98,746人			
		2	特別展（万祝博覧会）	入館者数	令和6年度実績	12,990人	2		
					前年度実績	19,430人			
		3	トピックス展等	入館者数	令和6年度実績	101,718人	1		
					前年度実績	266,139人			
	展示の充実	4	常設展示	更新回数	令和6年度実績	8回	1	B	生態園における野外展示も含む 季節展、トピックス展、生態園トピックス展、ミニトピックス展、出張展示等
					前年度実績	30回			
		5	特別展（万祝博覧会）	実施回数	令和6年度実績	1回	4		
					前年度実績	1回			
		6	トピックス展等	実施回数	令和6年度実績	15回	4		
					前年度実績	14回			
	総合的な満足度	7	常設展示	アンケート満足度 「非常に満足」+ 「満足」の割合	令和6年度実績		4	A	
8		企画展（事業名）	令和6年度実績		81%				
9		トピックス展等	令和6年度実績						
大項目IIの総合評価（A～D）							B		
博物館コメント	●（項目1～3）トピックス展については、令和5年度は千葉県150周年記念事業で実施した巡回展の来場者数（館外実施）が含まれていたため増加しており、令和6年度については減少幅が大きくなっているが、例年並みの入館者は維持されている。								

III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	令和6年度実績	54%	1	B	
						前年度実績	119%			
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	令和6年度実績	24件	4		
						前年度実績	24件			
大項目IIIの総合評価 (A~D)									B	
博物館コメント		●(項目1): 特別展・発掘された日本列島の入館者数が見込みが少なかつたため達成率54%と低い実績となった。								
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	令和6年度実績	599回	4	A	R6年度 (HP更新130回、房総のFM更新12回、ツイッター更新457回) R6年度 (HPアクセス185,881回、山のFMアクセス3,860回) R6年度 (新聞・雑誌48件、テレビ・ラジオ38件)
						前年度実績	584回			
			2	HPでの利用状況	アクセス数	令和6年度実績	189,741件	4		
						前年度実績	186,303件			
			3	報道機関への情報発信	取材件数	令和6年度実績	86件	3		
						前年度実績	100件			
大項目IVの総合評価 (A~D)									A	
博物館コメント		●(項目1~3) 「HP等の情報発信」は前年度より増えており、それに伴い「アクセス数」も順調に伸びている。								
V	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	令和6年度実績	128校	4	A	学校数・入館者数ともに順調に増加している。
						前年度実績	112校			
			2		入館者数	令和6年度実績	8,210人	4		
						前年度実績	5,712人			
			3	生徒・児童	入館者数	令和6年度実績	21,101人	4		
	前年度実績	19,740人								
	4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	令和6年度実績	16校	4				
				前年度実績	10校					
	5		利用者数	令和6年度実績	797人	4				
				前年度実績	228人					
地域関係団体との連携	6		団体数	令和6年度実績	52団体	4	B	団体数は増えたが、一団体当たりの規模が小さくなっているため、実施回数及び利用者が減少した。		
				前年度実績	48団体					
	7	連携・共催(大学、NPO等)	利用回数	令和6年度実績	54回	2				
				前年度実績	72回					
	8		利用者数	令和6年度実績	1,500人	2				
前年度実績				2,435人						
9	友の会活動	利用人数	令和6年度実績	203人	4					
			前年度実績	196人						
10	ボランティア活動	活動延人数	令和6年度実績	1297人	4					
			前年度実績	1033人						
大項目Vの総合評価 (A~D)									A	
博物館コメント		●(項目1~5) 学校への周知も進み、学校との連携にかかる項目の数値は、すべて前年度を上回っており、学校との連携が進んでいることが確認できた。 ●(項目6~8) 団体数は増えているが、団体規模が小さくなり、利用者数は減少している。利用者数を増やすためにも、より周知を進めていく必要がある。								

VI 教育・普及活動		来館状況		参加者数	令和6年度実績	前年度実績							
VI	教育・普及活動	1	ミュージアムトーク	参加者数	令和6年度実績	2,488人	4	B	【中央博物館本館】魅力あるテーマ等を設定し、参加者の増加に努めた。				
					前年度実績	1,978人							
		2	講座・観覧会	参加者数	令和6年度実績	1,503人	2			A	令和5年度に開催されたオンライン講座の回数が減ったため。オンライン講座の参加者を除けば、例年並みである。		
					前年度実績	2,050人							
		3	展示関連行事	参加者数	令和6年度実績	842人	2					A	特別展の対象とした年齢層が異なるため、特別展関連行事の参加者に差異が生じている。
					前年度実績	1,311人							
		4	体験教室	参加者数	令和6年度実績	506人	4						
前年度実績	348人												
5	中央博調査隊・森の調査隊	参加者数	令和6年度実績	363人	4	A	引き続き、参加者の増加に努めている。						
			前年度実績	303人									
6	自然誌フェスタ	参加者数	令和6年度実績	1,900人	4			A	前年度に比べ、3割の増加となった。				
			前年度実績	1,457人									
7	フィールドミュージアム (注：館外)	参加者数	令和6年度実績	220人	4					A	フィールドミュージアム事業計31日 <内訳> 教室博物館 24日 第52回清和地区文化祭 2日 観覧会 4回(4日) 東京大学千葉演習林との連携観覧会 夏の山の昆虫 1回(1日)		
			前年度実績	67人									
総合的な満足度	講座	講座・観覧会	満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	令和6年度実績	91%							4	A
				令和6年度実績									
				令和6年度実績									
	11	体験教室	満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	令和6年度実績			アンケート未実施						
				令和6年度実績									
	13	〇〇	満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	令和6年度実績				アンケート未実施					
令和6年度実績													
14	〇〇	満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	令和6年度実績			アンケート未実施							
			令和6年度実績										
15	相談件数 (来館、メール、電話等)	利用件数	令和6年度実績	3,486件	3		B		ほぼ例年並みの件数があった。				
			前年度実績	3,605件									
大項目VIの総合評価 (A～D)								A					
博物館コメント	●(項目1～7) ミュージアムトークや体験イベント等への参加者は、順調に増加しており、アンケートを実施し、参加者の意見を踏まえて内容をブラッシュアップを進めたい。												

VII		人材育成と安全管理								【中央博物館本館】				
	実習 研修	1	博物館実習	令和6年度実績		24人	4	B	前年度実績	21人	前年度に比べ、増加している。			
				前年度実績		21人								
		2	教員等の研修	令和6年度実績		43人	1					令和6年度は教育庁における研修事業一覧の掲載が外れた。令和7年度以降、再掲載に向けた調整を行う。		
				前年度実績		112人								
	3	職場体験	令和6年度実績		18人	4	前年度に比べ、増加している。							
			前年度実績		6人									
	4	インターンシップ	令和6年度実績		24人	4	前年度に比べ、増加している。							
			前年度実績		12人									
安全管理	5	研修会の開催	実施回数	令和6年度実績		/	/	A	前年度実績	/				
				前年度実績		/								
6	防災訓練実施等	実施回数	令和6年度実績		1回	4	前年度実績	1回						
			前年度実績		1回									
大項目VIIの総合評価（A～D）								A						
博物館コメント		●（項目1～4）学校利用者数を増やすためにも、教員向け研修等は積極的に実施していきたい。												
VIII	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	令和6年度実績		18団体	4	A	前年度実績	11団体	前年度に比べ、増加している。		
					前年度実績		11団体							
			2	外国人来館入込	令和6年度実績		451人	4		前年度に比べ、増加している。				
					前年度実績		263人							
大項目VIIIの総合評価（A～D）								A						
博物館コメント		（項目1～2）県外団体や外国人入館者数は、増加しており、観光資源としての定着が期待される。												
IX	ICTの活用	ICTの活用	1	デジタルミュージアム等のコンテンツの作成・整備	制作数	令和6年度実績		4件	4	A	前年度実績	2件	デジタルミュージアム1件、動画3件を作成・公開した。	
						前年度実績		2件						
			2	デジタルミュージアム等のコンテンツの利用状況	視聴数	令和6年度実績		/	/		個別データはとっていないが、当館ウェブサイト全体のアクセス数のみの数は増加している（項目IV-2）。			
						前年度実績		/						
			3	インターネットを活用したオンラインでの講座等の開催	開催回数	令和6年度実績		4回	4		前年度実績	3回		
						前年度実績		3回						
			4	デジタル・デバイス解消のための対策	実施回数	令和6年度実績		23件	4		前年度実績	17件	展示に関連し、図録・解説書・解説シート・パンフレット・ポスター・チラシ等の紙媒体で作成した（23件）。	
						前年度実績		17件						
大項目IXの総合評価（A～D）								A						
博物館コメント		（項目1～4）ICTにかかる項目すべてについて、前年度より実績が増加しており、ICTを活用した博物館事業を確実に展開しているところである。												

総合評価 (A~D) [各達成度の平均]

A

総合評価と次年度
への対策

●総合評価

- ◇博物館の運営面においては、ほぼコロナ前と同等のレベルまで回復してきており、学校利用者数等も順調に増加してきている。
- ◇また、地域等の連携についても、順調に結果を出しているところである。
- ◇資料収集も順調に進み、外部機関等への貸出等、収蔵資料の有効活用も進んできている。

●次年度への対策

- ◇引き続き、リニューアルに向けて、入館者増への取組を進めつつ、展示だけでなく、体験やイベント等も魅力ある内容にブラッシュアップしていきたい。
- ◇SNS (X・Instagram) 等を活用して、積極的なPRを計画的かつ適切に充実させていきたい。
- ◇デジタルミュージアムのコンテンツの作成については、制作のための予算要求を行い、内容の検討や素材の準備を進めたい。

千葉県立博物館の事業に係る自己評価票(令和6年度事業:中央博物館 大利根分館)

達成度(数値達成度のめやす)		自己評価	総合評価
達成	目標値≥100%	4	A
ほぼ達成	目標値≥80%	3	B
やや不十分	目標値≥50%	2	C
不十分	目標値<50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値≥75%	4
ほぼ達成	達成値≥65%	3
やや不十分	達成値≥50%	2
不十分	達成値<50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値
I	収蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究	収蔵資料の有効活用	1	博物館資料の受入等	令和6年度実績	2件	1	B	長期借用及び受託資料はない。
					前年度実績	6件			
			2	資料の情報化・公開実績	令和6年度実績	290点	4		
					前年度実績	-1,965点			
			3	長期借用及び受託資料の返却	令和6年度実績	0点	0		
					前年度実績	8点			
		4	館外貸出(外部機関等展示等)	令和6年度実績	5件	3			
				前年度実績	6件				
		5	館内利用(学術調査等)	令和6年度実績	1件	1			
				前年度実績	5件				
		6	著作物資料への利用(出版物掲載等)	令和6年度実績	12件	2			
				前年度実績	16件				
調査研究	7	調査事業件数	件数	令和6年度実績	0件	0	C		
			前年度実績	3件					
	8	共同調査事業件数	件数	令和6年度実績	0件	0			
			前年度実績	0件					
	9	研究成果の公開状況	論文研究報告	令和6年度実績	0件	0			
			前年度実績	10件					
大項目 I の総合評価(A~D)						B			
博物館コメント	●本館集約に向けた準備を進めた。								

II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	令和6年度実績			
			2	企画展(事業名)	入館者数	令和6年度実績			
			3	トピックス展等	入館者数	令和6年度実績			
		展示の充実	4	常設展示	更新回数	令和6年度実績			
			5	企画展(事業名)	実施回数	令和6年度実績			
			6	トピックス展等	実施回数	令和6年度実績			
		総合的な満足度	7	常設展示	アンケート満足度「非常に満足」+「満足」の割合	令和6年度実績			
			8	企画展(事業名)		令和6年度実績			
			9	トピックス展等		令和6年度実績			
大項目IIの総合評価(A~D)									
博物館コメント									
III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	令和6年度実績			
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	令和6年度実績			
大項目IIIの総合評価(A~D)									
博物館コメント									
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	令和6年度実績			
			2	HPでの利用状況	アクセス数	令和6年度実績			
			3	報道機関への情報発信	取材件数	令和6年度実績			
大項目IVの総合評価(A~D)									
博物館コメント									

V	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	令和6年度実績				
			2		入館者数	令和6年度実績				
			3	生徒・児童	入館者数	令和6年度実績				
			4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	令和6年度実績				
			5		利用者数	令和6年度実績				
		地域関係団体との連携	6	連携・共催(大学、NPO等)	団体数	令和6年度実績				
			7		利用回数	令和6年度実績				
			8	利用者数	令和6年度実績					
			9	友の会活動	利用人数	令和6年度実績				
			10	ボランティア活動	活動延人数	令和6年度実績	60人	4		
前年度実績	50人									
大項目Vの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	●資料整理ボランティアの積極的な参加があり、活動が進んだ。									

VI	教育・普及活動	来館状況	1		○○	参加者数	令和6年度実績		
			2	講座	○○	参加者数	令和6年度実績		
			3		○○	参加者数	令和6年度実績		
			4	体験教室	○○	参加者数	令和6年度実績		
			5		○○	参加者数	令和6年度実績		
			6	○○	参加者数	令和6年度実績			
			7	○○	参加者数	令和6年度実績			
	総合的な満足度	8		○○		令和6年度実績			
		9	講座	○○	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	令和6年度実績			
		10		○○		令和6年度実績			
		11	体験教室	○○	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	令和6年度実績			
		12		○○		令和6年度実績			
		13	○○	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	令和6年度実績				
	14	○○		令和6年度実績					
	利用状況	15	相談件数 (来館、メール、電話等)		利用件数	令和6年度実績	0件		
前年度実績						13件			
大項目VIの総合評価(A~D)									
博物館コメント									
VII	人材育成と安全管理	実習研修	1	博物館実習			令和6年度実績		
			2	教員等の研修			令和6年度実績		
			3	職場体験			令和6年度実績		
			4	インターンシップ			令和6年度実績		
	安全管理	5	研修会の開催	実施回数	令和6年度実績				
		6	防災訓練実施等	実施回数	令和6年度実績				
大項目VIIの総合評価(A~D)									
博物館コメント									

Ⅶ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	令和6年度実績				
			2	外国人来館入込	令和6年度実績				
大項目Ⅶの総合評価(A~D)									
博物館コメント									
Ⅷ	ICTの活用	ICTの活用	1	デジタルミュージアム等のコンテンツの作成・整備	制作数	令和6年度実績			
			2	デジタルミュージアム等のコンテンツの利用状況	視聴数	令和6年度実績			
			3	インターネットを活用したオンラインでの講座等の開催	開催回数	令和6年度実績			
			4	デジタル・デバйд解消のための対策	実施回数	令和6年度実績			
大項目Ⅷの総合評価(A~D)									
博物館コメント									
総合評価(A~D) [各達成度の平均]							A		
総合評価と次年度への対策		<ul style="list-style-type: none"> ●総合評価 本館への機能集約に向けて資料の整理を順調に進めた。 ●次年度への対策 収蔵環境を適切に保ち、資料を良好な状態で管理していくことに重点を置く必要がある。 							

千葉県立博物館の事業に係る自己評価票(令和6年度事業:中央博物館 大多喜城分館)

達成度(数値達成度のめやす)		自己評価	総合評価
達成	目標値≥100%	4	A
ほぼ達成	目標値≥80%	3	B
やや不十分	目標値≥50%	2	C
不十分	目標値<50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値≥75%	4
ほぼ達成	達成値≥65%	3
やや不十分	達成値≥50%	2
不十分	達成値<50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考				
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値			
I	収蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究	収蔵資料	1	博物館資料の受入等	令和6年度実績	0件	1	C	資料の受入等はなかった。なお、前年度は、受託から寄贈に切り替えた資料があり、実績数が増加となった。			
					前年度実績	136件						
			2	資料の情報化・公開実績	令和6年度実績	2,848点				3		
					前年度実績	2,856点						
		収蔵資料の有効活用	3	館外貸出(外部機関等展示等)	令和6年度実績	7件	4		A			
					前年度実績	7件						
			4	館内利用(学術調査等)	令和6年度実績	1件	4					
					前年度実績	1件						
		5	著作物資料への利用(出版物掲載等)	令和6年度実績	23件	3		前年度より利用申込件数が少なかったため				
				前年度実績	28件							
		調査研究	6	調査事案件数	件数	令和6年度実績		1件		2	C	
					前年度実績	2件						
7	共同調査事案件数		件数	令和6年度実績								
			前年度実績									
8	研究成果の公開状況	論文研究報告	令和6年度実績									
		前年度実績										
大項目 I の総合評価(A~D)							B					
博物館コメント	●適切な資料管理を行いながら、本館への機能集約に進めた作業を進めている。											

II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	令和6年度実績	45,185人	4	A	入館者数(無料)については、前年度比約14%増である。
						前年度実績	39,550人			
			2	企画展(事業名)	入館者数	令和6年度実績				
		3	トピックス展等	入館者数	令和6年度実績					
		展示の充実	4	常設展示	更新回数	令和6年度実績				
			5	企画展(事業名)	実施回数	令和6年度実績				
			6	トピックス展等	実施回数	令和6年度実績				
		総合的な満足度	7	常設展示	アンケート満足度「非常に満足」+「満足」の割合	令和6年度実績				
			8	企画展(事業名)		令和6年度実績				
9	トピックス展等		令和6年度実績							
大項目IIの総合評価(A~D)									A	
博物館コメント		●(項目1)休館中ではあるが、無料エリア分の入館者数は増加している。								
III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	令和6年度実績				
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	令和6年度実績				
大項目IIIの総合評価(A~D)										
博物館コメント										
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	令和6年度実績	0回	1	C	休館中のため、新規の掲載は実施していない。 休館中のため更新を行っていないため、アクセスが減少している。
						前年度実績	2回			
			2	HPでの利用状況	アクセス数	令和6年度実績	31,182件			
		前年度実績				41,789件				
		3	報道機関への情報発信	取材件数	令和6年度実績					
		大項目IVの総合評価(A~D)								
博物館コメント		●(項目1~2)休館中のため、HPの更新は行っていないが、訪問のための検索等があり、著しい減少には至っていない。今後、改修工事の状況等をアップしながら、観光面での情報提供を継続したい。								

V	学校及び 地域(関係 団体)との 連携・協働	学校との 連携	1	学校利用受入	学校数	令和6年度実績		B	実施校のクラスが1クラス分のみだったため、前年度比で利用者数は減少した。	
			2		入館者数	令和6年度実績				
			3	生徒・児童	入館者数	令和6年度実績				
			4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	令和6年度実績	1校			4
					前年度実績	1校				
		5	利用者数	令和6年度実績	43人	1				
				前年度実績	132人					
		地域関係 団体との 連携	6	団体数	令和6年度実績					
			7	連携・共催(大学、NPO等)	利用回数	令和6年度実績				
					利用者数	令和6年度実績				
9	友の会活動		利用人数	令和6年度実績						
10	ボランティア活動		活動延人数	令和6年度実績						
大項目Vの総合評価(A~D)								B		
博物館コメント	●(項目4~5)利用クラス数が減少しており、それに伴い、実績も減っている。引き続き、休館中でも対応できる事業を検討していきたい。									

VI	教育・普及活動	来館状況	1		○○	参加者数	令和6年度実績			
			2	講座	○○	参加者数	令和6年度実績			
			3		○○	参加者数	令和6年度実績			
			4	体験教室	○○	参加者数	令和6年度実績			
			5		○○	参加者数	令和6年度実績			
			6	○○	参加者数	令和6年度実績				
			7	○○	参加者数	令和6年度実績				
	総合的な満足度	8		○○		令和6年度実績				
		9	講座	○○	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	令和6年度実績				
		10		○○		令和6年度実績				
		11	体験教室	○○	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	令和6年度実績				
		12		○○		令和6年度実績				
		13	○○	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	令和6年度実績					
		14	○○		令和6年度実績					
	利用状況	15	相談件数 (来館、メール、電話等)	利用件数	令和6年度実績	12件	4	A		
前年度実績					11件					
大項目VIの総合評価(A~D)								A		
博物館コメント										
VII	人材育成と安全管理	実習研修	1	博物館実習		令和6年度実績				
			2	教員等の研修		令和6年度実績				
			3	職場体験		令和6年度実績				
			4	インターンシップ		令和6年度実績				
	安全管理	5	研修会の開催	実施回数	令和6年度実績					
		6	防災訓練実施等	実施回数	令和6年度実績					
大項目VIIの総合評価(A~D)										
博物館コメント										

Ⅶ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	令和6年度実績			
			2	外国人来館入込	令和6年度実績			
大項目Ⅶの総合評価(A~D)								
博物館コメント								
Ⅷ	ICTの活用	ICTの活用	1	デジタルミュージアム等のコンテンツの作成・整備	制作数	令和6年度実績		
			2	デジタルミュージアム等のコンテンツの利用状況	視聴数	令和6年度実績		
			3	インターネットを活用したオンラインでの講座等の開催	開催回数	令和6年度実績		
			4	デジタル・デバイド解消のための対策	実施回数	令和6年度実績		
大項目Ⅷの総合評価(A~D)								
博物館コメント								
総合評価(A~D) 【各達成度の平均】							B	
<p>総合評価と次年度への対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ●総合評価 休館中のため、無料エリアのみの公開になっているが、一定数の利用者を維持することができている。 ●次年度への対策 改修等に向けた準備を進めるとともに、地元町等との連携事業や情報発信等を継続的に進めていきたい。 								

千葉県立博物館の事業に係る自己評価票（令和6年度事業：中央博物館 分館海の博物館）

達成度（数値達成度のめやす）		自己評価	総合評価	満足度欄の達成度		自己評価
達成	目標値≧100%	4	A	達成	達成値≧75%	4
ほぼ達成	目標値≧80%	3	B	ほぼ達成	達成値≧65%	3
やや不十分	目標値≧50%	2	C	やや不十分	達成値≧50%	2
不十分	目標値<50%	1	D	不十分	達成値<50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考			
			上段：達成値 下段：目標値	値の説明	数値						
I	収蔵資料の整理・保存 有効活用・調査研究	収蔵資料	1	博物館資料の受入等	令和6年度実績	1,406点	4	A	年度内新規資料登録点数 目標値は自然史系研究員の数 (6名)×100		
					館設定の目標	600点					
			2	資料の情報化・公開実績	令和6年度実績	1,132点	4			情報システム月次報告の年間 データ公開件数(標本登録目標 値を目標値とした)	
					館設定の目標	600点					
			3	資料収集の回数	令和6年度実績	187回	4				資料収集に出かけた回数 目標値は研究員の数(7名)×5
					館設定の目標	35回					
		調査研究	4	館外貸出（外部機関等展示等）	令和6年度実績	4件	4	A	年報「3資料の利用」で報告した 数値のうち、展示利用と研究利 用の件数		
					要望のあった件数	4件					
			5	館内利用（学術調査等）	令和6年度実績	24件	4			館内で収蔵資料を利用した外部 の研究者数	
					要望のあった件数	24件					
			6	著作物資料への利用（出版物掲載等）	令和6年度実績	3件	4				年報「3資料の利用」で報告した 数値のうち、著作物の件数
					要望のあった件数	3件					
7	調査事案件数	件数	令和6年度実績	11件	4	A	総合研究の数+専門研究の数				
			館の計画	11件							
			令和6年度実績	19件				4	年報の共同研究員の数+共著論 文の数(館内除く)。目標値は自然 史系研究員の数		
館設定の目標	6件										
9	研究成果の公開状況	論文研究報告	令和6年度実績	34件	4			年報「学術論文・学術書」+「学術 報告書」。目標値は自然史系研 究員の数(6名)			
			館の計画	6件							
大項目Iの総合評価（A～D）						A					
博物館コメント	<ul style="list-style-type: none"> ●(項目1-3):博物館資料は博物館活動を行う上で最も基礎的かつ重要であり、その収集とデジタル化、情報公開を積極的に進めている。今年度末の退職者が未登録標本の整理と登録を行ったことから、目標値の2倍以上の値を達成している。 ●(項目4-6):博物館資料は、有効活用の件数を想定して収集・保管されるものではないため、目標を要望のあった件数とし、申し出があった案件にすべて対応した。 ●(項目7-9):研究成果は学術論文等で公開している。自然史系研究員1人年1報としているが、WEB図鑑を含めると、目標値の5倍を超えた。 										

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段：達成値	下段：目標値	値の説明	数値				
II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	令和6年度実績	78,630人	4	A	目標は過去3年間（令和3～5年度）の平均値（本来過去5年間の平均値とするが、令和元、2年度は新型コロナウイルス感染症による長期臨時休館が含まれるため除外） 目標は過去3年間（令和3～5年度）の平均値（本来過去5年間の平均値とするが、令和元、2年度は新型コロナウイルス感染症による長期臨時休館が含まれるため除外） 目標は過去5年間（令和元～5年度）の平均値。ただし、令和2年度のみ開催期間が9月末までと約1ヶ月長いため、7、8月の入場者数で計算した。
						館設定の目標	55,709人			
			2	企画展示（マリンサイエンスギャラリー「超深海」）	入館者数	令和6年度実績	10,597人	4		
						館設定の目標	6,061人			
			3	企画展示（収蔵資料展「勝浦・磯の生きものミニ水族館」）	入館者数	令和6年度実績	28,187人	4		
						館設定の目標	17,030人			
		展示の充実	4	常設展示	更新回数	令和6年度実績	55回	4		
						館設定の目標	50回			
			5	企画展示（マリンサイエンスギャラリー「超深海」）	実施回数	令和6年度実績	1回	4		
館設定の目標	1回									
6	企画展示（収蔵資料展「勝浦・磯の生きものミニ水族館」）	実施回数	令和6年度実績	1回	4					
			館設定の目標	1回						
総合的な満足度	7	常設展示	アンケート満足度「非常に満足」+「満足」の割合	令和6年度実績	97%	4	A	アンケート回答数43（前年度13）		
				令和6年度実績	93%	4		アンケート回答数508（前年度139）		
				令和6年度実績	97%	4		アンケート回答数352（前年度15）		
大項目IIの総合評価（A～D）							A			
博物館コメント	<ul style="list-style-type: none"> ●（項目1～3）：夏季以降、「勝浦市は涼しい」という報道がなされ、勝浦市への来訪者が大幅に増加した。その関係や周辺の来訪者に入館してもらうための積極的な広報活動の成果等もあって、7月以降、月の入館者数は入場料有料化以降でも最高位かそれに近い数値で推移し、昨年度よりも大幅な増加となった。 ●（項目4～6）：常設展示、企画展示ともに、目標を着実に遂行できた。 ●（項目7～9）：常設展示、企画展示とも、満足度は極めて高かった。マリンサイエンスギャラリーのアンケートでは「展示を見て海に関する興味が一層増した」「貴重な標本を見ることができた」「知らなかったことを知ることができた」等、収蔵資料展では「多くの種類の生きものを見ることができた」「知らなかった生きものを見ることができた」等の好意的なコメントが寄せられ、好評であった。 									
III	財源の確保	1	入場料収入	達成率	令和6年度実績	153%	4	A	R6実績/R6当初予算	
					前年度実績	121%				
		2	外部資金の獲得	件数	令和6年度実績	2件	4		自然史系研究職員の数（6名）×科研費平均採択率（25%）	
					館設定の目標	2件				
大項目IIIの総合評価（A～D）							A			
博物館コメント	<ul style="list-style-type: none"> ●（項目1）：前年度に続き、入場料収入はR6年度も当初予算を大きく上回った。 ●（項目2）：外部資金の獲得件数は科研費を2件（延長含む）獲得した。科研費により研究に必要な物品の購入や旅費の支出が可能となるので、獲得努力（応募件数の増加）も促していきたい。 									

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段：達成値	下段：目標値	値の説明	数値				
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	令和6年度実績	93回	4	B	R5ウェブ更新履歴ファイルからシステム上のカウント方法
					前年度実績	73回				
			2	HPでの利用状況	アクセス数	令和6年度実績	57,050件	4		
					前年度実績	43,134件				
			3	報道機関への情報発信	取材件数	令和6年度実績	66件	2		
					前年度実績	98件				
大項目IVの総合評価（A～D）							B			
博物館コメント		<p>●（全項目）：HPのシステム更新に伴い、行事カレンダーの増設などの影響でアップ数は増加した。アクセス数は、入場者数や館行事への参加数などが増加していることが影響していると考えられる。館行事への参加者アンケートでは、HP閲覧による参加が多いといえる。また昨年度に比べて研究成果の公表事例が少なかったことにより、報道機関への情報発信数は伸びなかった。情報発信の改善として、近隣自治体や民間団体への広報活動を推進したい。</p>								
V	学校及び地域（関係団体）との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	令和6年度実績	30校	4	A	野外実習授業の実績（小+中+高+大）
					要望があった数	30校				
			2	入館者数	令和6年度実績	1,484人	4	野外実習授業の実績（小+中+高+大）		
					要望があった数	1,484人				
			3	生徒・児童	入館者数	令和6年度実績	1,594人	4		展示室利用の実績（小+中+高+大、入場者統計から）
					要望があった数	1,594人				
		4	博学連携（幼小中高への出前講座等）	学校数	令和6年度実績	17校	4	野外実習授業の実績（小+中+高）		
				要望があった数	17校					
		5	利用者数	令和6年度実績	945人	4	野外実習授業の実績			
				要望があった数	945人					
		地域関係団体との連携	6	団体数	令和6年度実績	21団体	4	A	団体フィールドトリップ及び講師派遣事業の実績	
					要望があった数	21団体				
			7	連携・共催（大学、NPO等）	利用回数	令和6年度実績	21回		4	団体フィールドトリップ及び講師派遣事業の実績
					要望があった数	21回				
8	利用者数	令和6年度実績	632人	4	団体フィールドトリップ及び講師派遣事業の実績					
		要望があった数	632人							
9	友の会活動	利用人数	令和6年度実績			該当なし				
		館設定の目標								
10	ボランティア活動	活動延人数	令和6年度実績	69人	3	ボランティア活動延人数の実績				
		前年度実績	80人							
大項目Vの総合評価（A～D）							A			
博物館コメント		<p>●（項目1-8）：学校・団体等との連携活動は、引き続き、積極的に受入れを進めた。 ●（項目10）：企画展示の準備を中心に活動してもらった。割合は少ないが、野外調査や行事の手伝いを積極的に行うボランティア活動も見られた。ボランティア希望者12名はすべて受け入れた。 ●（全項目）：要望があった数のうち、天候等でキャンセルがあった数値は除外した。</p>								

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考			
			上段：達成値	下段：目標値	値の説明	数値						
VI	教育・普及活動	来館状況	1	観察会	参加者数	令和6年度実績	86人	1	B	観察会参加者数実績 申込者数141名、当選者数98名（当日欠席者数12名）		
						募集員数	155人					
			2	講座	参加者数	令和6年度実績	21人	2			講座参加者数実績 申込者数26名、当選者数26名（当日欠席者数5名）	
						募集員数	30人					
			3	フィールドトリップ	参加者数	令和6年度実績	148人	4				フィールドトリップ参加者数実績(10回の予定中、中止1回)中止分は母数に含めず
						募集員数	140人					
		4	バックヤードツアー	参加者数	令和6年度実績	132人	2	バックヤードツアー参加者数実績(12回の予定中、荒天中止行事の代替を含め14回実施)				
					募集員数	180人						
		5	みんなで工作 海の生きもの	参加者数	令和6年度実績	130人	4		みんなで工作海の生きもの参加者数実績			
					募集員数	90人						
		6	海の体験コーナー	参加者数	令和6年度実績	353人	4			海の体験コーナー参加者数実績		
					募集員数	228人						
総合的な満足度			満足度「とても満足した」+「満足した」の割合	令和6年度実績	100%	4	A	アンケート結果				
				令和6年度実績	100%	4		アンケート結果				
				令和6年度実績	99%	4		アンケート結果				
				令和6年度実績	98%	4		アンケート結果				
				令和6年度実績	96%	4		アンケート結果				
利用状況	12	相談件数 (来館、メール、電話等)	利用件数	令和6年度実績	59件	4	A	相談件数実績				
				要望数	59件							
大項目VIの総合評価（A～D）						A						
博物館コメント		<p>●（全項目）：昨年度までコロナ対策で全て事前申込制としていたが、本年度から通常開催に戻した。参加者数は概ねコロナ前の状況に回復していた。いずれの行事も内容やレベル等についても概ね適切だったとの評価があり、満足度は高かった。</p> <p>●（来館状況の総合評価）：観察会の達成状況は1であったが、これは夏の人気行事が荒天のため室内の代替行事になったこと、新たなプログラムを増やしたが当館行事の中では認知度が低かったことが原因として考えられる。しかし、参加者の満足度は高いため、引き続き事業を継続する。当日参加型の体験を伴う行事は充足率が高い傾向があるので、今後も続けていく。アンケート回答件数は観察会64件、講座17件、フィールドトリップ83件、バックヤードツアー72件、みんなで工作海の生きもの69件、計305件。</p>										

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考			
			上段：達成値	下段：目標値	値の説明				数値		
VII	人材育成と安全管理	実習 研修	1	博物館実習	令和6年度実績	/	/	A	該当なし		
					館設定の目標						
			2	教員等の研修	令和6年度実績	39人					
					要望があった数	39人					
		3	職場体験	令和6年度実績	10人						
				要望があった数	10人						
		4	インターンシップ	令和6年度実績	1人						
				募集員数	1人						
		安全管理	5	研修会の開催	実施回数	1回					
					館の計画	1回					
6	防災訓練実施等		実施回数	3回							
			館の計画	3回							
大項目VIIの総合評価（A～D）						A					
博物館コメント	<ul style="list-style-type: none"> ●（項目1-4）：職場体験、教員研修、インターンシップとともに、海洋生物を対象とした自然史博物館の業務に関する貴重な体験ができたと好評であった。 ●（項目5-6）：毎年度研修及び訓練を実施している。今後も継続して実施していく。 										
VIII	観光資源としての活用	1	県外来館団体入込	令和6年度実績	4団体	3	A	6年度は5年度と比較すると若干減少した。			
				前年度実績	5団体						
		2	外国人来館入込	令和6年度実績	542人	4		6年度においては、5年度と比較すると外国人入込数は増加した。			
				前年度実績	410人						
大項目VIIIの総合評価（A～D）						A					
博物館コメント	●（項目1-2）：前年度に続き、外国人入館者数は増加傾向にある。										
IX	ICTの活用	ICTの活用	1	デジタルミュージアム等のコンテンツの作成・整備	制作数	令和6年度実績	0件	1	D	システム上の問題で制作できなかった。	
					館設定の目標	1件					
			2	デジタルミュージアム等のコンテンツの利用状況	視聴数	令和6年度実績	/	/		/	該当なし
					前年度実績	/					
		3	インターネットを活用したオンラインでの講座等の開催	開催回数	令和6年度実績	0件	0件	0件		学校等とのオンラインによる連携講座等の件数。	
				館設定の目標	0件						
		4	デジタル・デバイス解消のための対策	実施回数	令和5年度実績	0件	0件	0件		普及行事の申込方法、行事アンケート回答方法の多様化	
				館設定の目標	0件						
大項目IXの総合評価（A～D）						D					
博物館コメント	（項目1）：作成の準備は開始されていたが、システム上の問題から実際の作成はできなかった。										

分類	大項目	中項目	小 項 目			達成 状況	総合 評価	備考
			上段：達成値 下段：目標値	値の説明	数値			
総合評価（A～D） [各達成度の平均]						A		
総合評価と次年度 への対策			<p>●総合評価：令和6年度の入館者数は前年度比で142.8%と大幅に増加した。増加の要因としては、webページでの情報提供やSNSでの最新トピックの発信、当館オリジナルの企画展示開催、駐車場からの導線にある掲示物の工夫などが挙げられる。また、「勝浦は夏に涼しい」ということが繰り返し報道された効果が大きいと考えられるが、夏季以外でも入館者数が伸びている。展示や教育普及行事に対する来館者・参加者の満足度は、これまで通り非常に高い水準を維持しており、多客に対して適切な対応が取られている。学校団体には基本的に全て対応しているが、地元小中学校の統廃合により、件数自体は減少している。</p> <p>●次年度への対策：令和7年度の目標として、さらに来館者向けのサービスを工夫していきたい。例えば、直近で得られた生きものの臨時展示や、研究成果の報道発表、および、それに関連するトピック展示などが挙げられる。また、ITCについては、まだ十分に活用している状況ではないので、今年度行えなかったデジタルミュージアムコンテンツの作成や、オンライン講座による従来参加が難しかった遠隔者の取り込みなどを推進する。</p>					

千葉県立博物館の事業に係る自己評価票（令和6年度事業：現代産業科学館）

達成度（数値達成度のめやす）		自己評価	総合評価	満足度欄の達成度		自己評価
達成	目標値≧100%	4	A	達成	達成値≧75%	4
ほぼ達成	目標値≧80%	3	B	ほぼ達成	達成値≧65%	3
やや不十分	目標値≧50%	2	C	やや不十分	達成値≧50%	2
不十分	目標値<50%	1	D	不十分	達成値<50%	1

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段：達成値	下段：目標値	値の説明	数値				
I	収蔵資料の整理・保存 有効活用・調査研究	収蔵資料	1	博物館資料の受入等	令和6年度実績	1件	4	B		
					前年度実績	1件				
			2	資料の情報化・公開実績	令和6年度実績	0点	1			
					前年度実績	0点				
			3	資料の保守・管理の実施	令和6年度実績	52点	4			
					館設定の目標	52点				
		収蔵資料の有効活用	4	館外貸出（外部機関等展示等）	令和6年度実績	0件	1			C
					前年度実績	0件				
			5	館内利用（学術調査等）	令和6年度実績	0件	1			
					前年度実績	0件				
			6	著作物資料への利用（出版物掲載等）	令和6年度実績	5件	4			
					前年度実績	3件				
	調査研究	7	調査事業件数	件数	令和6年度実績	17件	4	B		
				前年度実績	17件					
		8	共同調査事業件数	件数	令和6年度実績	0件	1			
				前年度実績	0件					
		9	研究成果の公開状況	論文研究報告	令和6年度実績	2件	4			
					前年度実績	2件				
大項目Iの総合評価（A～D）							B			
博物館コメント	<p>・「伝えたい千葉の産業技術100選」と題し、千葉県における歴史的産業技術を次世代へ継承することを目的として、調査研究を継続しており、認定数89件となった。引き続き調査、認定を進め、周知に努める。</p> <p>・展示資料を適切に維持管理することにより、実験装置等の稼働率を向上させた。今後も利用者の満足度を高めるよう努める。</p>									

II	入館者数と 来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	令和6年度実績	144,004人	4	B
						前年度実績	130,492人		
			2	企画展（見る）	入館者数	令和6年度実績	12,967人	4	
						前年度実績	10,517人		
			3	企画展 プラネタリウム上映会	入館者数	令和6年度実績	12,108人	2	
						前年度実績	16,811人		
		展示の充 実	4	常設展示	更新回数	令和6年度実績	6回	4	
						前年度実績	6回		
			5	企画展（見る）	実施回数	令和6年度実績	1回	4	
前年度実績	1回								
6	トピックス展等	実施回数	令和6年度実績	35回	3				
			前年度実績	36回					
総合的な 満足度	7	常設展示	アンケート満足度 「非常に満足」+ 「満足」の割合	令和6年度実績		4	A		
				令和6年度実績	99%				
				令和6年度実績					
大項目IIの総合評価（A～D）								A	
博物館コメント	<p>・「見る」をテーマとした企画展では、様々な立場の「見る」について紹介した。生き物の「見る」では、立体錯視、伝統工芸の職人、人以外の生き物の視覚システムを紹介した。機械の「見る」では、電子顕微鏡、高感度カメラなどの先端技術を紹介。そして最後に、人・機械・AIが協働して、災害救助を行う技術などを紹介した。展覧会の中で、様々な視覚システムに触れることで、新たな視点で世界を見直す機会を提供した。借用資料の展示方法についても「光と影」を意識するよう工夫し、企画展の趣旨に即した内容を構成し、多様なニーズの中での「見る」の魅力や奥深さについて、来館者に伝えることができた。アンケート結果を見ても「満足」と「まあまあ満足」を合わせて95%を超えており、実際に触れて体験することのできる資料を数多く展示したことが来館者の満足度につながったと考えられる。</p> <p>・トピックス展では、ラジオ、昭和時代の家電等の展示や企画展「見る」に関連した展示のほか、他館や他の部局と連携したパネル展、産業キャリア教育の一環である新しい太陽光発電技術の紹介展示等を実施した。来館者が身の回りの科学技術に、新たな視点を向けるきっかけとなるような企画を実施することができた。</p> <p>・プラネタリウム上映会は「軌跡×奇跡－宇宙の瞬時にかける想い」として、天空と地上の景色を臨場感あふれる作品に仕上げたこれまでの軌跡と、星々が織り成す美しい奇跡の瞬間を表現した作品を上映した。</p>								
III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	令和6年度実績	129%	4	A
						館設定の目標	116%		
		外部資金等	2	外部資金等の獲得	件数	令和6年度実績	39件	3	
						前年度実績	41件		
大項目IIIの総合評価（A～D）								A	
博物館コメント	<p>・30周年事業や、子どもにもわかりやすく人気のある錯視を紹介した企画展の実施により入場者が増加した。</p>								

IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	令和6年度実績	139回	3	B
						前年度実績	159回		
			2	HPでの利用状況	アクセス数	令和6年度実績	226,969件	3	
						前年度実績	233,065件		
			3	報道機関への情報発信	取材記事掲載又は放送件数件数	令和6年度実績	18件	4	
						前年度実績	12件		
大項目IVの総合評価 (A~D)								B	
博物館コメント	・プラネタリウムや企画展への取材が多くみられた。								
V	学校及び地域（関係団体）との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	令和6年度実績	103校	3	A
						前年度実績	119校		
			2	入館者数	令和6年度実績	7,972人	4		
					前年度実績	7,792人			
			3	生徒・児童	入館者数	令和6年度実績	7,891人	4	
						前年度実績	7,760人		
			4	博学連携（幼小中高への出前講座等）	学校数	令和6年度実績	36回	4	
						前年度実績	12回		
			5	利用者数	令和6年度実績	1336人	4		
					前年度実績	756人			
			6	団体数	令和6年度実績	21団体	4		
					前年度実績	17団体			
			7	連携・共催（大学、NPO等）	利用回数	令和6年度実績	31回	4	
						前年度実績	18回		
8	利用者数	令和6年度実績	33,419人	4					
		前年度実績	30,977人						
9	友の会活動	利用人数	令和6年度実績	132人	3				
			前年度実績	162人					
10	ボランティア活動	活動延人数	令和6年度実績	246人	2				
			前年度実績	370人					
大項目Vの総合評価 (A~D)								A	
博物館コメント	・展示・運営協力会の展示会とサイエンスショー等で連携する団体が増えたことにより、前年度より利用者数を増加させることができた。 ・出張講座の利用希望が増加している。								

VI	教育・普及活動	来館状況	1	講座	講演会	参加者数	令和6年度実績	107人	/	/	A
							前年度実績				
			2	講座	クリスマス実験講座	参加者数	令和6年度実績	148人	4		
							前年度実績	97人			
			3	体験教室	科学館わくわく教室	参加者数	令和6年度実績	2,947人	4		
	前年度実績	2,252人									
	4	産業学習in科学館		参加者数	令和6年度実績	168人	4				
					前年度実績	157人					
	5	解説ツアー		参加者数	令和6年度実績	173人	3				
					前年度実績	176人					
総合的な満足度	6	講座	講演会	満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	令和6年度実績	/	/				
					令和6年度実績	100%		4			
	8	体験教室	科学館わくわく教室	満足度「とっても良かった」+「良かった」	令和6年度実績	99%	4				
					令和6年度実績	82%	4				
9	産業学習in科学館		満足度「とっても良かった」+「良かった」	令和6年度実績		4					
				令和6年度実績							
利用状況	10		相談件数 (来館、メール、電話等)	利用件数	令和6年度実績	27件	4				
					前年度実績	11件					
大項目VIの総合評価 (A~D)										A	
博物館コメント	<p>「クリスマス実験講座」では、「コマをまわそう」「風といっしょにあそぼう」の2つの講座を実施した。講座の担当者は普段から実験ショーを行っている方々であり、実験機器の使い方や科学的事象の説明の仕方、見せ方などの技術力が高く、2つの演目ともに非常にわかりやすく、来館者の反応がとてもよかった。事後のアンケートからも「わかりやすかった」「楽しかった」などの感想が挙げられていた。また、どちらの講座も最後に体験できる時間を設けたため、小さな子供もより楽しく参加することができた。</p> <p>・「科学館わくわく教室」は、定員を超える応募があり満足度も高い事業である。次年度は広い実施場所を確保して定員を増やすなど、できるだけ利用者の要望に答えていきたい。</p>										
VII	人材育成と安全管理	実習研修	1	博物館実習	令和6年度実績	9人	4				
					前年度実績	3人					
			2	教員等の研修	令和6年度実績	1人	1				
					前年度実績	13人					
		3	職場体験	令和6年度実績	23人	4					
				前年度実績	19人						
		4	インターンシップ	令和6年度実績	2人	2					
				前年度実績	3人						
	安全管理	5	研修会の開催	実施回数	令和6年度実績	2回	4				
					前年度実績	2回					
6	防災訓練実施等	実施回数	令和6年度実績	2回	4						
			前年度実績	2回							
大項目VIIの総合評価 (A~D)										A	
博物館コメント	・教員研修は、総合教育センターとの連携から外れてしまったことにより、参加者が激減してしまった。										

VIII	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	令和6年度実績	102団体	4	A	
					前年度実績	78団体			
			2	外国人来館入込	令和6年度実績	421人	4		
					前年度実績	163人			
大項目VIIIの総合評価（A～D）							A		
博物館コメント	県外では、比較的当館に近い都内(江戸川区・墨田区・葛飾区など)からの団体に加え、板橋区や埼玉県からの団体入館者が増加した。								
IX	ICTの活用	ICTの活用	1	デジタルミュージアム等のコンテンツの作成・整備	制作数	令和6年度実績	0件	1	D
						前年度実績	10件		
			2	デジタルミュージアム等のコンテンツの利用状況	視聴数	令和6年度実績		1	
						前年度実績	12,562回		
			3	インターネットを活用したオンラインでの講座等の開催	開催回数	令和6年度実績	0回	1	
						前年度実績	0回		
			4	デジタル・デバイス解消のための対策	実施回数	令和6年度実績	0件	1	
						前年度実績	0件		
大項目IXの総合評価（A～D）							D		
博物館コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・当館の公式YouTubeチャンネルは、県のYouTubeチャンネルに移行したことにより閉鎖となった。 ・オフラインでの出張講座の希望が増加したため、オンラインでの実施がなくなった。 								
総合評価（A～D） [各達成度の平均]							B		
総合評価と次年度への対策	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナによる利用規制により下がっていた当館の認知度が、近隣小学校への広報活動を強化したこともあり、ようやく戻ってきている。 ・次年度は、更に広報活動を強化するとともに、幅広い分野のものづくりに関わる仕事を紹介し、製造業や技術系の教育機関、県内産業への興味や理解を促進する。 								

千葉県立博物館の事業に係る自己評価票(令和6年度事業:関宿城博物館)

達成度(数値達成度のめやす)		自己評価	総合評価
達成	目標値≧100%	4	A
ほぼ達成	目標値≧80%	3	B
やや不十分	目標値≧50%	2	C
不十分	目標値<50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値≧75%	4
ほぼ達成	達成値≧65%	3
やや不十分	達成値≧50%	2
不十分	達成値<50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考				
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値			
I	収蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究	収蔵資料	1	博物館資料の受入等	令和6年度実績	4点	1	B	寄託資料1件4点の受入			
					前年度実績	171点						
			2	資料の情報化・公開実績	令和6年度実績	171点	4			亀井家資料:R5は受入・情報化、R6は公開		
					前年度実績	171点						
		収蔵資料の有効活用	3	館外貸出(外部機関等展示等)	令和6年度実績	7件	4	C				
					前年度実績	4件						
			4	館内利用(学術調査等)	令和6年度実績	4件	1					
					前年度実績	18件						
		5	著作物資料への利用(出版物掲載等)	令和6年度実績	13件	2						
				前年度実績	19件							
		調査研究	6	調査事業件数	件数	令和6年度実績	15件			4	A	資料閲覧件数
					前年度実績	12件						
7	共同調査事業件数		件数	令和6年度実績	2件	4	・川船関係調査(大利根分館と共同) ・関宿幕末史(野田市郷土博物館等と連携)					
			前年度実績	1件								
8	研究成果の公開状況	論文研究報告	令和6年度実績	5件	4							
		前年度実績	5件									
大項目Iの総合評価(A~D)							B					
博物館コメント	資料については、「資料の情報化・公開」以外は、他の団体や個人に求めに応じて行うもの。資料の情報化・公開については、入力すべき資料の情報は既に入力済みなので、今後はまとまった資料の受け入れが生じない限り、資料の画像情報を新た撮影・登録することが中心となる。館員の調査研究については企画展に伴う資料調査が主体となっている。											
II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	令和6年度実績	94,515人	4	A			
					前年度実績	91,082人						
			2	企画展(赤松宗旦と利根川図志)	入館者数	令和6年度実績	14,553人	3				
					前年度実績	14,662人						
			3	トピックス展等	入館者数	令和6年度実績	75,208人	4			パネル展、昔のくらし展、写生コンクール、百景写真展	
					前年度実績	64,147人						
		展示の充実	4	常設展示	更新回数	令和6年度実績	2回	4				
					前年度実績	2回						
			5	企画展(赤松宗旦と利根川図志)	実施回数	令和6年度実績	1回	4				
		前年度実績			1回							
		6	トピックス展等	実施回数	令和6年度実績	6回	4	パネル展2件→3件、昔のくらし展、写生コンクール、百景写真展				
				前年度実績	5回							
総合的な満足度	7	常設展示	アンケート満足度「非常に満足」+「満足」の割合	令和6年度実績		4	A		常設展のみのアンケート実施が困難なため評価せず			
				令和6年度実績	92%							
				令和6年度実績	91%							
大項目IIの総合評価(A~D)							A					
博物館コメント	企画展では、江戸時代に刊行された利根川についての紀行文「利根川図志」を取上げ、その内容と作者の赤松宗旦の生い立ち、執筆から刊行に至るまでの経緯を紹介した。企画展やパネル展等のアンケートによる満足度調査では、9割以上が満足という良好な結果を得ている。											

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値
Ⅲ	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	令和6年度実績	106.3%	B	R6予算収入を100%としたときのR6入場料収入の割合を算出 3,166,190円(R6収入)÷ 2,979,000円(予算)×100 目標を前年度実績にすると0になるため、R2,R3,R4,R5実績の 平均値=0.25を参考とし、1件とする。
						館設定の目標	100%		
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	令和6年度実績	0件		
						館設定の目標	1件		
大項目Ⅲの総合評価(A~D)							B		
博物館コメント	入場料収入は入場者数の増加により伸びている。外部資金の獲得について、令和6年度は芸文振の補助金申請を行ったが、獲得できなかった。今後も獲得すべく継続して申請の予定である。								
Ⅳ	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	令和6年度実績	230回	B	更新回数 ページビューアクセス数
						前年度実績	183回		
			2	HPでの利用状況	アクセス数	令和6年度実績	54,270件		
						前年度実績	56,020件		
			3	報道機関への情報発信	取材件数	令和6年度実績	7件		
						前年度実績	13件		
大項目Ⅳの総合評価(A~D)							B		
博物館コメント	HPのデータアップロード回数は、増加した。また、館内における事前確認を入念に行うことなどにより、修正等による無駄な更新数は減少している。								
Ⅴ	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	地域関係団体との連携	1	学校利用受入	学校数	令和6年度実績	18校	B	個人入館者の内の中学生以下の人数 目標を前年度実績にすると0になるため、R2,R3,R4,R5実績の 平均値=0.75を参考として1校とする。 目標を前年度実績にすると0になるため、R2,R3,R4,R5実績の 平均値=29.75を参考として30人とする。
						前年度実績	23校		
			2	入館者数	入館者数	令和6年度実績	827人		
						前年度実績	894人		
			3	生徒・児童	入館者数	令和6年度実績	17,892人		
						前年度実績	18,666人		
			4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	令和6年度実績	2校		
						前年度実績	1校		
			5	利用者数	利用者数	令和6年度実績	78人		
						前年度実績	30人		
6	団体数	団体数	令和6年度実績	1団体					
			前年度実績	5団体					
7	連携・共催(大学、NPO等)	利用回数	令和6年度実績	2回					
			前年度実績	8回					
8	利用者数	利用者数	令和6年度実績	26人					
			前年度実績	215人					
9	友の会活動	利用人数	令和6年度実績	130人					
			前年度実績	126人					
10	ボランティア活動	活動延人数	令和6年度実績	187人					
			前年度実績	192人					
大項目Ⅴの総合評価(A~D)							B		
博物館コメント	学校利用の受入れ数は減少傾向にある。友の会の活動は例年どおりであった。大学やNPO等との連携・共催の事業はあまり行うことができなかった。								

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考				
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値			
VI	教育・普及活動	来館状況	1	講座	歴史講座「古文書を読む」	参加者数	令和6年度実績	155人	2	C	募集定員・実績ともに延べ人数	
					募集定員	240人						
			2	博物館セミナー	参加者数	令和6年度実績	165人	2				
						募集定員	280人					
			3	体験教室	城下を歩こう	参加者数	令和6年度実績	86人	2			
							募集定員	150人				
		4		河川敷のいきものさがし	参加者数	令和6年度実績	22人	2				
						募集定員	40人					
		5		野外講座(歴史散歩)(企画展)	参加者数	令和6年度実績	5人	1				
						募集定員	20人					
		6		歴史講座(企画展)	参加者数	令和6年度実績	43人	3				
						募集定員	50人					
		総合的な満足度		7	講座	歴史講座「古文書を読む」		令和6年度実績	99%	4		A
8	博物館セミナー							令和6年度実績	85%			
9	体験教室			城下を歩こう	満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	令和6年度実績	91%	4	A			
						10	河川敷のいきものさがし			令和6年度実績	100%	
11	野外講座(歴史散歩)			令和6年度実績	100%	4	A					
12	歴史講座(企画展)			令和6年度実績	92%							
利用状況	13	相談件数(来館、メール、電話等)	利用件数	令和6年度実績	58件	3	B					
				前年度実績	66件							
大項目VIの総合評価(A~D)							B					
博物館コメント	講座や観察会については実施数等はほぼ例年どおりであった。参加者の満足度について昨年同様おおむね良好であった。											
VII	人材育成と安全管理	実習研修	1	博物館実習	令和6年度実績	5人	4	B	前年度実績にすると0となり、また、コロナ禍のためR2,R3,R4,R5実績の平均値も0人となるが、目標としては1人とした。			
					前年度実績	4人						
			2	教員等の研修	令和6年度実績	62人	4					
					前年度実績	35人						
		3	職場体験		令和6年度実績	0人	1					
					館設定の目標	1人						
		4	インターンシップ		令和6年度実績	4人	4					
					館設定の目標	3人						
		安全管理	5	研修会の開催	実施回数	令和6年度実績	5回			4	A	年間4~5回の展示替えを研修の機会と考える
						前年度実績	5回					
6	防災訓練実施等	実施回数	令和6年度実績	1回	4	A	毎年1回実施					
			館設定の目標	1回								
大項目VIIの総合評価(A~D)							A					
博物館コメント	博物館実習は希望者全員を受入れた。インターンシップについては定員を超えて希望者の受入れを行った。職場体験は希望者がなかった。少人数の館なので研修会と称するほどではないが、年数回の展示替えなどを全員で行うことで、展示技術や資料の扱い方等について学ぶ場とし、館員の資質向上を図っている。											

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考		
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値	
Ⅷ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	令和6年度実績	67団体	4	A		
					前年度実績	51団体				
			2	外国人来館入込	令和6年度実績	315人	4			
					前年度実績	300人				
大項目Ⅷの総合評価(A~D)						A				
博物館コメント	県外からの観光客や留学生団体などの利用は増加傾向にある。									
Ⅸ	ICTの活用	ICTの活用	1	デジタルミュージアム等のコンテンツの作成・整備	制作数	令和6年度実績	0件	1	D	コンテンツを追加するよう努力したい。 デジタルミュージアム等単独でページビューがカウントできるようにしたい。 過去に実施実績がないため、目標を「1」とする。他館より実施のために必要な機器を借りるなどし、試行することを計画している。 メールでの問い合わせを受け付けるとともに、電話や対面での質問にももちろん対応している。
					前年度実績	8件				
			2	デジタルミュージアム等のコンテンツの利用状況	視聴数	令和6年度実績	/	/		
					前年度実績	/				
			3	インターネットを活用したオンラインでの講座等の開催	開催回数	令和6年度実績	0回	1		
					館設定の目標	1回				
			4	デジタル・デバイド解消のための対策	実施回数	令和6年度実績	/	/		
					前年度実績	/				
大項目Ⅸの総合評価(A~D)						D				
博物館コメント	ICTの活用分野については、めぼしい成果を上げられていない。企画展示の内容などをデジタルミュージアムコンテンツとして追加するなど、できるところから手を付けていきたい。									
総合評価(A~D) 【各達成度の平均】						B				
総合評価と次年度への対策	<ul style="list-style-type: none"> ●総合評価 <ul style="list-style-type: none"> ○シニア層の利用が多く、当館の主たるテーマである「川に関わる文化・歴史」及び「関宿藩と関宿城の歴史(関宿藩と関宿)」に関する展示への関心が高い。メールや電話での問合せも頻繁にあり、常設展や企画展、パネル展等を通し来館者の興味・関心に応じていく必要がある。 ○小規模館ではあるが、資料の閲覧や掲載依頼など資料の利用状況は比較的良好である。 ●次年度への対策 <ul style="list-style-type: none"> ○収蔵状況を改善するとともに、収蔵庫の管理を適切に行い、寄託資料をはじめとする所蔵資料の保全を図る。 ○広報活動や普及事業の開催時期等を工夫し、より多くの参加を促す。特に利用の少ない親子連れの集客を図る。 ○学校団体に向けて積極的な情報発信を行い、館事業への関心を喚起する。 ○ICTの活用については、企画展示の内容などをデジタルミュージアムコンテンツとして追加するなど、できるところから手を付けていきたい。 									

千葉県立博物館の事業に係る自己評価票(令和6年度事業:房総のむら)

達成度(数値達成度のめやす)		自己評価	総合評価
達成	目標値≥100%	4	A
ほぼ達成	目標値≥80%	3	B
やや不十分	目標値≥50%	2	C
不十分	目標値<50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値≥75%	4
ほぼ達成	達成値≥65%	3
やや不十分	達成値≥50%	2
不十分	達成値<50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値
I	収蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究	収蔵資料の有効活用	1	博物館資料の受入等	令和6年度実績	0件	1	B	熊倉コレクション(絵葉書)を登録した
					前年度実績	3件			
			2	資料の情報化・公開実績	令和6年度実績	121点	4		
					前年度実績	12点			
			3		令和6年度実績				
					前年度実績				
		4	館外貸出(外部機関等展示等)	令和6年度実績	18件	4	A	資料館リニューアルオープンの影響があって大幅に増加した	
				前年度実績	13件				
		5	館内利用(学術調査等)	令和6年度実績	30件	4			
				前年度実績	25件				
		6	著作物資料への利用(出版物掲載等)	令和6年度実績	15件	4			
				前年度実績	15件				
調査研究	7	調査事業件数	件数	令和6年度実績	2件	2	B	企画展「地域に生きる醤油づくり」1件、トピックス展「房総の牧」1件	
				前年度実績	3件				
	8	共同調査事業件数	件数		令和6年度実績				
					前年度実績				
	9	研究成果の公開状況	論文研究報告		令和6年度実績	2件			4
					前年度実績	2件			
大項目 I の総合評価(A~D)							B		
博物館コメント	風土記の丘資料館リニューアルオープン後に資料の貸出や館内利用が増加した。								

II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	令和6年度実績	161,324人	4	A	会期:12月7日～2月2日 令和5年度はトピックス展「千葉の行商」		
						前年度実績	157,532人					
			2	企画展「地域に生きる醤油づくり」	入館者数	令和6年度実績	21,571人	2				
						前年度実績	32,097人					
			3	トピックス展「房総の牧」	入館者数	令和6年度実績	28,957人	4			会期:2月22日～4月20日 令和5年度はトピックス展「むらのけものたち」	
		前年度実績				18,251人						
		4	千葉県誕生150周年記念「写真で見るちばのあゆみ」	入館者数	令和6年度実績	32,213人	4	会期:3月23日～5月12日 令和5年度～6年度の年度をまたがって実施				
					前年度実績	6,359人						
		5	千葉県教育振興財団設立50周年記念展Part1	入館者数	令和6年度実績	34,655人	4			会期:9月21日～11月17日 「旧石器・縄文・弥生～」		
					前年度実績	0人						
		展示の充実	6	常設展示	更新回数	令和6年度実績	0回					1
前年度実績	2回											
7	企画展(「地域に生きる醤油づくり」)		実施回数	令和6年度実績	1回	4	令和5年度無し					
		前年度実績		0回								
8	トピックス展等	実施回数	令和6年度実績	3回	4	「房総の牧」、千葉県誕生150周年記念「写真で見るちばのあゆみ」、千葉県教育振興財団設立50周年記念展Part1						
			前年度実績	2回								
総合的な満足度	9	常設展示	アンケート満足度「非常に満足」+「満足」の割合	令和6年度実績	89%				4		A	
				令和6年度実績	92%							
				令和6年度実績	84%							
大項目IIの総合評価(A～D)								B				
博物館コメント	来館者数については微増し、アンケート調査の満足度は比較的高い状況である											
III	財源の確保	1	入場料収入	達成率	令和6年度実績			103%	4	A		来館者数の増加に伴って入場料収入も増加した
					前年度実績			100%				
		2	外部資金の獲得	件数	令和6年度実績		12件	4	賛助会員(10→12)			
					前年度実績		10件					
大項目IIIの総合評価(A～D)								A				
博物館コメント	入館者数の増加とともに入場料収入も増加した。また、賛助会員の勧誘に努め、会員数が10団体から12団体に増加した											

IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	令和6年度実績	662回	4	B	HP情報UP301件、ブログ108件、X(旧ツイッター)158件、インスタグラム95件
						前年度実績	582回			
			2	HPでの利用状況	アクセス数	令和6年度実績	296,408件	3		
						前年度実績	317,652件			
			3	報道機関への情報発信	取材件数	令和6年度実績	21件	2		
						前年度実績	30件			
大項目IVの総合評価(A~D)									B	
博物館コメント	取材件数は減少したが、情報発信では新たにインスタグラムを開始したことなどによって発信数が増加した。									
V	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	学校との連携	1	学校数	学校利用受入	令和6年度実績	263校	3	B	
					前年度実績	275校				
			2	入館者数	令和6年度実績	15,809人	3			
					前年度実績	17,983人				
			3	生徒・児童	入館者数	令和6年度実績	14,013人	3		
		前年度実績				15,842人				
		4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	令和6年度実績	1校	4			
					前年度実績	0校				
		5		利用者数	令和6年度実績	44人	4			
					前年度実績	0人				
地域関係団体との連携	6	団体数	令和6年度実績	28団体	4	A	他団体連携+特定マーケット連携 地元市町、日本ユニセフ、県観光物産協会、各交通事業者等 ユニセフ90人、千葉交響楽団107人、博物館実習6人、インターンシップ等15人、中央博(里山観察会)44人			
			前年度実績	26団体						
	7	連携・共催(大学、NPO等)	利用回数	令和6年度実績	19回			4		
				前年度実績	18回					
	8		利用者数	令和6年度実績	262人			2		
前年度実績				344人						
9	友の会活動	利用人数	令和6年度実績							
10	ボランティア活動	活動延人数	令和6年度実績	800人	4					
			前年度実績	651人						
大項目Vの総合評価(A~D)									A	
博物館コメント	地元の学校団体や市町、成田空港(株)などの交通事業者等と連携事業を開発している									

VI	教育・普及活動	来館状況	1	考古学講座	参加者数	令和6年度実績	300人	4	B					
						前年度実績	195人							
			2	講座	伝統文化入門	参加者数	令和6年度実績	43人			2			
							前年度実績	84人						
			3		子ども里山観察会、里山観察会	参加者数	令和6年度実績	44人			4			
							前年度実績	33人						
			4	体験教室	出張体験	参加者数	令和6年度実績	1,985人			4	A	成田伝統芸能まつり、県民の日中央・地域行事、鴨青まつり、学校出前授業、東葉高速鉄道基地まつり等	
							前年度実績	72人						
			5		団体系験	参加者数	令和6年度実績	19,547人			3			
							前年度実績	21,554人						
			6		ワークシートを活用した「むら体験」	参加者数	令和6年度実績	11,427人			3			B
							前年度実績	12,933人						
			7		体験数	参加者数	令和6年度実績	102,382人			3			
							前年度実績	110,469人						
			総合的な満足度	8	講座	〇〇	満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	令和6年度実績						
令和6年度実績														
令和6年度実績														
11	体験教室	〇〇		満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	令和6年度実績		講座や体験の数が非常に多く、各々のアンケートをとっていない							
					令和6年度実績									
13	〇〇	〇〇		満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	令和6年度実績									
			令和6年度実績											
14	〇〇	〇〇	満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	令和6年度実績										
				令和6年度実績										
15	相談件数(来館、メール、電話等)	利用件数	令和6年度実績		統計を取っていないため件数は不明									
大項目VIの総合評価(A~D)									B					
博物館コメント	全体の体験者数はやや減少しているが、出張体験等を積極的に展開し、新たな普及活動に注力している。													

Ⅶ	人材育成と安全管理	実習研修	1	博物館実習	令和6年度実績	6人	4	B	R6年度は地元中学校からの希望がなかったため 大学生5名、高校生5名	
					前年度実績	4人				
			2	教員等の研修	令和6年度実績	2人	2			
					前年度実績	3人				
		3	職場体験	令和6年度実績	0人	1				
				前年度実績	2人					
		4	インターンシップ	令和6年度実績	10人	4				
				前年度実績	6人					
	安全管理	5	研修会の開催	実施回数	令和6年度実績	30回	4	A	職員全体研修20回、救急法等特別な研修10回	
					前年度実績	26回				
		6	防災訓練実施等	実施回数	令和6年度実績	1回	4			
					前年度実績	1回				
大項目Ⅶの総合評価(A~D)								A		
博物館コメント	救急法基礎講習や労働災害防止のための講習会への職員参加を積極的に実施している									
Ⅷ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	令和6年度実績	54団体	2	B		
					前年度実績	69団体				
			2	外国人来館入込	令和6年度実績	4,426人	3			
					前年度実績	4,460人				
大項目Ⅷの総合評価(A~D)								B		
博物館コメント	外国人来館者数がやや減少した。									
Ⅸ	ICTの活用	ICTの活用	1	デジタルミュージアム等のコンテンツの作成・整備	制作数	令和6年度実績	2件	4	B	R5年度は博物館情報システム更新に伴って2箇所のWi-Fiポイントを新設したが、R6年度は特に対応なし
						前年度実績	2件			
			2	デジタルミュージアム等のコンテンツの利用状況	視聴数	令和6年度実績				
						前年度実績				
			3	インターネットを活用したオンラインでの講座等の開催	開催回数	令和6年度実績				
						前年度実績				
			4	デジタル・デバйд解消のための対策	実施回数	令和6年度実績	0回	1		
						前年度実績	1件			
大項目Ⅸの総合評価(A~D)								B		
博物館コメント	博物館内でのWi-Fiポイントを増やすことによって来館者サービスの向上が見込まれるが、敷地が広大なため実施は難しい									
総合評価(A~D) [各達成度の平均]								B		
総合評価と次年度への対策	<p>●総合評価 大項目のA評価が7項目(77.8%)、B評価が1項目(11.1%)、C評価が1項目(11.1%)となっているが、とくにICTの活用については今後の課題である。</p> <p>●次年度への対策 R6年度中にキャッシュレス化が開始となったが、Wi-Fi網の整備は進んでいないため今後の課題とする。また、松枯れやナラ枯れの樹木が増加し、倒木などの恐れがある危険木の伐採に着手しているが、今後は里山の保全活動に向けて準備を進める必要がある。</p>									

資料1 - 3

令和6年度千葉県立美術館・博物館自己評価結果
説明資料

千葉県立美術館

分類	大項目	中項目	小項目		達成状況	総合評価	備考	総合評価		
			上段:達成値	下段:目標値					値の説明	数値
I	収蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究	収蔵資料の有効活用	4	館外貸出(外部機関等展示等)	令和6年度実績	10件	4	佐倉市立美術館「香取秀真の眼」展、松本市美術館「香取秀真展」、千葉市美術館「板倉鼎・須美子展」など 毎日新聞社・SOMPO美術館によるバルビゾン派コレクションの調査、芳国舎渋谷製陶所による津田信夫の調査 館外への資料貸出、掲載業務は要望すべてに対応した。 朝日新聞社、思文閣出版、共同通信社など	B	
					要望のあった件数	10件				
			5	館内利用(学術調査等)	令和6年度実績	2件	4			
					要望のあった件数	2件				
			6	著作物資料への利用(出版物掲載等)	令和6年度実績	16件	4			
					要望のあった件数	16件				
II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	美術館	入館者数	令和6年度実績	100,610人	3	ZOZO×県美コレクション コレクション展1 コレクション展2(100選) PROJECT UMINOUE, 浅井忠、あちこちに行く デュッセルドルフ派遣アーティスト成果展 来館者数は減少してしまったが、展示内容の充実をはかったことにより満足度は高かった。	B
					前年度実績	121,301人				
			2	企画展(海風展、浅井展)	入館者数	令和6年度実績	44,033人	3		
		前年度実績			53,278人					
		3	移動展	入館者数	令和6年度実績	598人	1			
				前年度実績	3,484人					
		展示の充実	4	常設展示	更新回数	令和6年度実績	3回	1		
					館設定の目標	7回				
			5	特別展(PROJECT UMINOUE, 浅井忠、あちこちに行く)	実施回数	令和6年度実績	2回	4		
		館設定の目標			2回					
		6	トピックス展等(デュッセルドルフ派遣アーティスト成果展)	実施回数	令和6年度実績	1回	4			
				館設定の目標	1回					
総合的な満足度	7	常設展示(ZOZO)	アンケート満足度「非常に満足」+「満足」の割合	令和6年度実績	94%	4				
			令和6年度実績	92%						
			令和6年度実績	93%						
8	特別展(PROJECT UMINOUE,	特別展(浅井忠、あちこちに行く)	令和6年度実績	98%	4					
			令和6年度実績	98%						
IX	ICTの活用	ICTの活用	1	デジタルミュージアム等のコンテンツの作成・整備	制作数	令和6年度実績	6件	4	デジタルミュージアムの新規コンテンツを作成することができたが、視聴数は前年度に比べて減少した。	A
					前年度実績	3件				
2	デジタルミュージアム等のコンテンツの利用状況	視聴数	令和6年度実績	20,496件	2					
			前年度実績	25,647件						

千葉県立中央博物館

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	総合評価	
			上段：達成値 下段：目標値		値の説明						数値
本館	II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	令和6年度実績	98,169人	3	C	前年度の特別展と比べ、若年層の来館者が少なくなったため。R5特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」
							前年度実績	98,746人			
				2	特別展（万祝博覧会）	入館者数	令和6年度実績	12,990人	2		
							前年度実績	19,430人			
				3	トピックス展等	入館者数	令和6年度実績	101,718人	1		
	前年度実績	266,139人									
	展示の充実	(配付資料参照)				B					
	総合的な満足度	(配付資料参照)				A					
	V	学校及び地域（関係団体）との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	令和6年度実績	128校	4	A	学校への周知も進み、学校との連携にかかる項目の数値は、すべて前年度を上回っており、学校との連携が進んでいることが確認できた。
							前年度実績	112校			
				2	入館者数	令和6年度実績	8,210人	4			
						前年度実績	5,712人				
				3	生徒・児童	入館者数	令和6年度実績	21,101人	4		
							前年度実績	19,740人			
				4	博学連携（幼小中高への出前講座等）	学校数	令和6年度実績	16校	4		
前年度実績	10校										
5	利用者数	令和6年度実績	797人	4							
		前年度実績	228人								
地域関係団体との連携	(配付資料参照)				4	B	団体数は増えたが、一団体当たりの規模が小さくなっているため、実施回数及び利用者が減少した。				
IX	ICTの活用	ICTの活用	1	デジタルミュージアム等のコンテンツの作成・整備	制作数	令和6年度実績	4件	4	A	ICTにかかる項目すべてについて、前年度より実績が増加しており、ICTを活用した博物館事業を確実に展開しているところである。	
						前年度実績	2件				
			3	インターネットを活用したオンラインでの講座等の開催	開催回数	令和6年度実績	4回	4			
						前年度実績	3回				
4	デジタル・デバйд解消のための対策	実施回数	令和6年度実績	23件	4						
			前年度実績	17件							

※収蔵資料及び広報・学校連携の評価については、休館の影響もあり、大根分館・大多喜城分館ともに昨年度をやや下回る結果となった。
 ※分館海の博物館では、「IX ICTの活用」がD評価（令和5年度はA）となったが、これはデジタルミュージアム等のコンテンツがシステム上の問題により作成できず、『0件』となったためである。

千葉県立現代産業科学館

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	総合評価	
			上段：達成値	下段：目標値	値の説明	数値					
III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	令和6年度実績	129%	4	A	<p>設定の目標数値は、前年度の入場料収入を100%とし、増加（あるいは減少）率を示したものである。令和5年度は令和4年度に比較し、116%の増加となったことを受け、令和6年度についても前年度を上回る増加率を目指した。令和6年度実績は、令和5年度の収入を100%として計算し、結果は129%の増加率となった。目標数値を上回った主な理由には、企画展開催中の有料入館者増などがあげられる。</p>	A
						館設定の目標	116%				
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	令和6年度実績	39件	3			
						前年度実績	41件				
IX	ICTの活用	ICTの活用	1	デジタルミュージアム等のコンテンツの作成・整備	制作数	令和6年度実績	0件	1	D	<p>当館の様々な演示実験を動画で配信するため、複数年かけて撮影していたが、令和5年度で予定していた動画撮影が終わったため、令和6年度は撮影を計算。行わなかった。令和7年度以降については計画的に動画撮影を実施する予定である。</p>	D
						前年度実績	10件				
			2	デジタルミュージアム等のコンテンツの利用状況	視聴数	令和6年度実績	0件	1			
						前年度実績	12,562回				
<p>YouTubeチャンネルに公開している25本の動画の、2023/4/1から2024/3/31までの視聴回数合計(R5評価) → YouTubeチャンネルが県に移行し、当館のチャンネルは閉鎖 (R6)したため、0回となっている。</p>									D		

千葉県立関宿城博物館

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	総合評価
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明	数値				
II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1 博物館	入館者数	令和6年度実績	94,515人	4	A	入館者数はわずかながら増加した。	A
					前年度実績	91,082人				
			2 企画展(赤松宗旦と利根川図志)	入館者数	令和6年度実績	14,553人	3			
		前年度実績			14,662人					
		3 トピックス展等	入館者数	令和6年度実績	75,208人	4	パネル展、昔のくらし展、写生コンクール、百景写真展 夏季に行ったパネル展「利根川の風景Ⅰ、Ⅱ」の入館者数が多かったため、入館者実績が大幅に増加。			
				前年度実績	64,147人					
		展示の充実	4 常設展示	更新回数	令和6年度実績	2回			4	
					前年度実績	2回				
			5 企画展(赤松宗旦と利根川図志)	実施回数	令和6年度実績	1回	4		パネル展2件→3件、昔のくらし展、写生コンクール、百景写真展	
前年度実績	1回									
6 トピックス展等	実施回数	令和6年度実績	6回	4						
		前年度実績	5回							
総合的な満足度	7 常設展示	アンケート満足度「非常に満足」+「満足」の割合	令和6年度実績		4	A	常設展のみのアンケート実施が困難なため評価せず			
			令和6年度実績	92%						
			令和6年度実績	91%						
IX	ICTの活用	ICTの活用	1 デジタルミュージアム等のコンテンツの作成・整備	制作数	令和6年度実績	0件	1	D	コンテンツを追加するよう努力したい。	D
					前年度実績	8件				
			2 デジタルミュージアム等のコンテンツの利用状況	視聴数	令和6年度実績				デジタルミュージアム等単独でページビューがカウントできるようにしたい。	
					令和6年度実績					
3 インターネットを活用したオンラインでの講座等の開催	開催回数	令和6年度実績	0回	1	過去に実施実績がないため、目標を「1」とする。実施のために必要な機器を他館から借りるなどし、試行することを計画している。					
		館設定の目標	1回							
4 デジタル・デバイド解消のための対策	実施回数	令和6年度実績			メールでの問い合わせを受け付けるとともに、電話や対面での質問にももちろん対応している。					

千葉県立房総のむら

分類	大項目	中項目	小項目				達成	総合評価	備考	総合
			上段：達成値 下段：目標値		値の説明	数値				
II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	令和6年度実績	161,324人	4	A	B
						前年度実績	157,532人			
		総合的な満足度	9	常設展示	アンケート満足度「非常に満足」+「満足」の割合	令和6年度実績	89%	4		
						10	企画展「地域に生きる醤油づくり」			
11	トピックス展等	令和6年度実績	84%	4	<p>・トピックス展「房総の牧」では、牧の移り変わりの様子を資料や写真を用いて紹介した。</p> <p>・季節の展示である「ビックリひなまつり」では、約200体のひな人形を七段飾りにして展示した。</p>					
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	令和6年度実績	662回	4	B	<p>R6内訳 HP301件、ブログ108件、X(旧ツイッター)158件、インスタグラム95件</p> <p>・各種イベント(まつり中心)・展示の情報をプレスに提供 ・イベント等の詳細が決定する時期が遅くなり、広報活動期間が短いことが取材件数減少の理由であると考え(平均的な広報期間1か月程度)。</p>
						前年度実績	582回			
			2	HPでの利用状況	アクセス数	令和6年度実績	296,408件	3		
						前年度実績	317,652件			
			3	報道機関への情報発信	取材件数	令和6年度実績	21件	2		
						前年度実績	30件			
V	と(関係団体)の連携・協働	地域関係団体との連携	8	連携・共催(大学、NPO等)	利用者数	令和6年度実績	262人	2	A	<p>R6内訳 ユニセフ90人、千葉交響楽団107人、博物館実習6人、インターンシップ等15人、中央博(里山観察会)44人</p> <p>R6登録者数46人 ・ガイドボランティア：館内の案内・解説 ・緑のボランティア：館内の植栽並びに施設等の環境整備 ・体験事業ボランティア：体験事業の補助</p>
						前年度実績	344人			
		10	ボランティア活動	活動延人数	令和6年度実績	800人	4			
					前年度実績	651人				

資料2

令和8年度実施事業について

千葉県立美術館

令和8年度特別展「大高正人展 —建築と都市のヒューマニズム—」

〔総合計画 VI-3-①-1 あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり〕
〔活性化基本構想 ④-2-3 文化観光の拠点として、地域の活性化に寄与する事業の展開〕

概要

本展覧会は、千葉県立美術館を設計した建築家である大高正人の仕事を紹介するものである。

大高はメタボリズム運動の建築家の一人である。公共建築や都市計画等で業績を残しており、千葉県内では、千葉文化の森計画として、千葉県文化会館、千葉県立中央図書館を設計したほか、1990年には青葉の森公園の彫刻設置プランにも携わっている。1970年代に設計された県立美術館は、当時の大高建築の特徴をよく示しており、令和7年8月に大高建築として初めて国の登録有形文化財（建造物）として登録された。

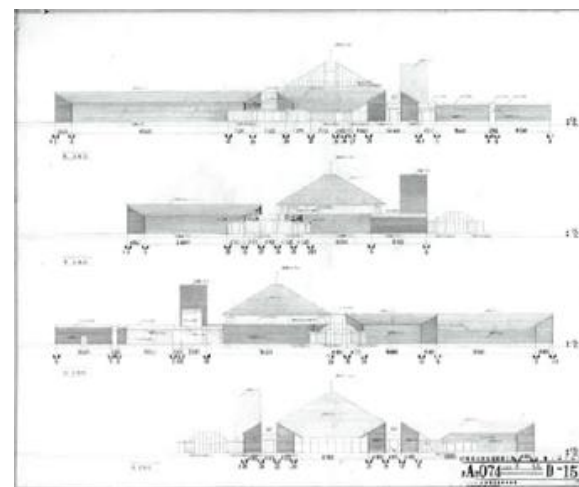
本展覧会では、多数の図面や模型で大高の業績を紹介するとともに、千葉県での大高の仕事を残された資料から丁寧にひも解いていくことで、千葉県立美術館をはじめとする大高正人の建築及び都市計画の魅力に触れていただく機会を提供する。

会期

令和9年1月30日（土） - 4月11日（日） 計62日間

会場

千葉県立美術館 第1・2・3・7・8展示室



おおたか まさと

大高正人 profile(1923-2010)

メタボリズム運動の建築家、都市計画家。福島県三春町出身。西千葉の東京帝国大学第二工学部建築学科に進学した後、前川國男建築事務所に入所。1962年に大高建築設計事務所を設立以降は、千葉県内の都市計画や、福島県三春町のまちづくり等を手がけた。1988年に紫綬褒章、2003年に旭日中綬章受賞。

趣旨

美術館建築の魅力発信と愛着の醸成

千葉県の文化的都市計画の紹介

みどころ

大高建築の魅力を学びながら、実際に美術館の建築空間を楽しめる

日本近現代建築資料館から借用する図面や模型等貴重な資料の展示

令和7年度企画展「生薬～自然からの恵み～」 千葉県立中央博物館×薬屋のひとりごと

※令和7年度から令和8年度にまたがる企画展示

会期 令和8年3月14日（土）～6月15日（月・県民の日）（81日間）
入場料 一般500円 高校生・大学生 250円

※中学生以下・65歳以上・障害者及び介護者1名は無料

内容 生薬とは、人々が生きるために野山に薬草を求め、その知恵を受け継いできた、動植物や鉱物などの天然素材から作られる薬です。本展では、旧千葉県薬草園が所蔵する生薬標本コレクションを中心に、生薬とその歴史、現代における役割などを御紹介します。

『薬屋のひとりごと※』とのコラボレーション

人気コンテンツとのコラボにより、認知度向上・集客を狙う。

【コラボ企画】

(1)トークショー「毒と薬」

著者・日向夏氏と山崎真巳教授（千葉大学薬学部）による対談。

- ・日時 4月29日（水・祝）
- ・会場 中央博物館 講堂
- ・定員 150名

(2)オリジナルしおりプレゼント

入場者先着1万名

(3)複製原画展示

小説の挿絵の複製原画を展示室内に展示

(4)キャラクターフォトスポット

キャラクターの等身大パネルのフォトスポットを設置

※このほか、トークショーや観察会、体験イベント、展示解説など、多彩なイベントを開催予定です。



※『薬屋のひとりごと』

日向夏氏によるライトノベル。架空の中華風後宮を舞台に、薬師の少女猫猫（マオマオ）が毒や薬の知識を駆使して難事件を解き明かすミステリー作品。

マンガ、アニメ等へ展開するメディアミックス作品として老若男女を問わず人気。2026年10月からTVアニメ（第3期）放送、2026年12月に劇場版公開が予定。

「未来を切り開く！驚きの新素材ワールド」(仮称)

令和8年10月10日(土)～11月29日(日) (44日間)

概要

企画展では、未来を切り開く「新素材」に焦点を当て、「新素材」がもたらす様々な活用例を紹介し、来場者に科学技術の進化を体感してもらう。具体的には、環境にやさしいサステナブル素材、生き物のしくみを応用したバイオミメティクス素材や千葉県の企業が開発した新素材、未来へとつながる新素材などを紹介する。実物展示、体験コーナーを通じて来場者が楽しく学びながら未来の技術に触れられる内容とし、これらをとおして、科学・自然・人の融合が生み出す最先端の「ものづくり」の世界に関する理解を深め、新素材が日常生活や環境問題の解決、未来の技術革新にどのように役立つかを学べる機会を提供したい。

展示構成

1. 衣食住×新素材

新素材が私たちの生活にもたらす「革新」。
○暮らしを支える衣服、食品、住環境に革新をもたらす最先端の素材を紹介する。快適性や持続可能性を追求した新技術が私たちの生活にどのように変えるのかを体感できる単元とする。

2. サステナブル×新素材

環境に優しい新素材が支える持続可能な社会。
○環境負荷を軽減し、持続可能な社会を実現する新素材を紹介する。

5. 千葉×新素材

千葉県内の企業や研究機関が開発した新素材を探る。
○地域の技術力やものづくりの魅力を通じて、郷土への理解を深める。

3. バイオミメティクス×新素材

自然界の生物からインスピレーションを得た新素材の可能性。
○生物の構造や機能を模倣した技術を探る。自然界の知恵を応用した新素材が医療や建築など幅広い分野でどのように活躍しているかを紹介する。

4. 未来×新素材

新素材が描く未来のビジョンと技術革新。
○未来の技術がどのように私たちの生活を変えるのか、次世代を見据えた科学技術の進化を体感できる展示とする。

【ご助言を賜りたい事項】

- 中高生にも興味をもってもらえるような効果的な広報の方法についてのアドバイス
(現在実施している主な取組) HP掲載 近隣学校にチラシ配布 情報誌への掲載

千葉県立関宿城博物館

R8年度企画展

「戦国の関宿－無双之名地－」(仮)

会期：令和8年10月3日～11月29日(予定)

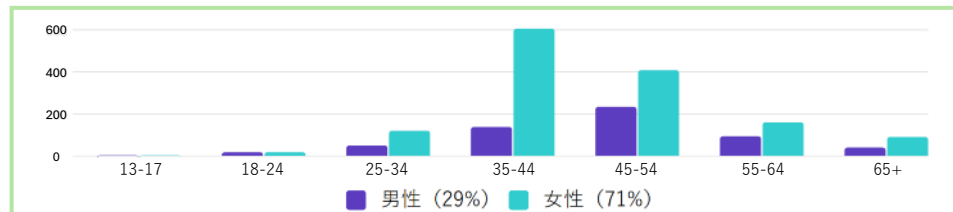
内容：関東における戦国期の始まりとされる享徳の乱に伴い、長祿元年(1457年)に築城された関宿城は、16世紀には一時古河公方の御座所(居城)となり、関東における政治と文化の中心的機能を果たした。上杉謙信の関東進出後は、関宿城は越後上杉氏の関東における重要拠点ともなり、関東の支配を確実にしようとする小田原北条氏との間で、3度の合戦が繰り返されました。

令和7年度の企画展「関宿城に舞う鷹の羽」では、近世初期の関宿を取り上げた。令和8年度は、古河公方の関宿移座から関宿合戦までを取り上げ、戦国期の関宿が関東の政治・軍事・文化の中心であったことを紹介する。

○過去の企画展入館者数

年度	入場者数	有料入場者数	タイトル/主な展示内容
R7年度	13,482	2,656	関宿藩に舞う鷹の羽～下総久世家～ 関宿藩内の変遷や藩領の様子を紹介し、関宿藩の成立から終焉までを紹介
R6年度	14,553	2,269	赤松宗旦と利根川図志 江戸時代の地誌『利根川図志』の挿絵を中心に当時の利根川流域のようすを紹介
R5年度	14,602	2,319	地図は世につれ人につれ 江戸時代以降の関宿周辺の様々な地図から読み取れる土地や人々にくらしの変遷について紹介
R4年度	14,705	2,435	関東 塩ものがたり 関東地方の塩の生産と流通の歴史を紹介
R3年度	15,084	2,277	関宿関所は川関所!? 江戸時代に関宿に置かれた関所について、時代とともに変化するその構造や役割の変化を紹介

○謎解きクイズラリーに興味を持った年齢層(Instagram広告掲出測定結果より)



会期中の主な普及事業

- 外部講師による企画展関連講演会の実施
- ミュージアムトーク(研究員による展示解説)の実施(会期中3回)
- 子ども向けワークショップ等の実施(会期中随時)
- 謎解きクイズラリーの実施(会期中及び会期前後)



上杉謙信起請文



足利義氏筆和歌短冊



縹糸威最上胴丸具足



一色直朝筆「白鷹図」

千葉県立房総のむら

令和8年度実施事業について

【事業説明】

房総のむらを知っていただくための企画として、年間6回のテーマを設定して「まつり」と称して開催。まつりをきっかけに通常の体験や展示のリピーターになっていただきたいと考えている。近年入館者数・体験者数が減少しており、増加を図るための体験演目、催し物内容、広報活動等の工夫が必要である。

名称	春のまつり		むらの縁日・夕涼み		秋のまつり		文化の日・日本遺産 北総4都市デー		むらのお正月		さくらまつり	
R8実施 予定日	5月2～6日 5日間(R5:3日)		8月22.23日 2日間		10月11.12日 2日間		11月3日 1日		1月3.4日 2日間		3月20～24日 5日間(R5:2日)	
テーマ	「あそびと暮らし」		「涼む」		「秋の収穫への感謝」		「伝統の技や伝統芸能」		「昔ながらのお正月」		「桜を楽しむ」	
(R7) 主な企画	<ul style="list-style-type: none"> ・おらんだ楽隊 ・八千代高校の和太鼓 ・大道芸 猿回し、鬼の回遊 ・ぼうじろ一杯 下駄飛ばし、かるた遊び ・和戦体験 		<ul style="list-style-type: none"> ・大道芸 笑う狐様、化け猫 一つ目小僧、怪談ばなし ・金魚すくい ・手持ち花火 ・みんなで楽しむ昔ばなし 		<ul style="list-style-type: none"> ・匝瑳市八日市場祇園 囃子 ・大道芸 皿回し、輪鼓 ・蹴ろくろ ・お茶席 ・ポン菓子実演 		<ul style="list-style-type: none"> ・北総四都市ガイドダンス ・屋外展示 千葉の民俗芸能 ・古典菊 ・佐倉囃子 ・浮世絵の刷り ・鎌作り実演 		<ul style="list-style-type: none"> ・鷹匠のパフォーマンス ・琴の演奏 ・弓初め ・大道芸 女流獅子舞 大黒様 		[R6実施] <ul style="list-style-type: none"> ・弓馬術礼法小笠原流の演武 ・ポニーふれあい体験 ・桜色のはがき作り ・桜の小皿 ・昔あそび 	
区分	入館者数	体験者数	入館者数	体験者数	入館者数	体験者数	入館者数	体験者数	入館者数	体験者数	入館者数	体験者数
R7	12,120	9,257	5,600	6,803	3,145	3,308	4,724	2,638	5,923	8,302	—	—
R6	14,971	12,334	8,371	10,110	2,599	3,634	5,831	3,551	8,049	10,949	5,518	6,028
R5	12,978	13,924	8,258	12,061	2,955	4,411	6,212	4,601	5,748	10,362	2,798	4,510

現在の広報活動：各まつり開催に合わせて、チラシ（A4）を4,000部、ポスターを（B2）160部を外部発注して、県内の県立博物館、教育機関（県内すべての国公立の小・中学校や特別支援学校等）、近隣ホテル等にメール便で発送等を行っている。